愛國婦人會機關

# 愛國婦人

每月五日二十日發行

一部參錢一ヶ月金六錢半年分參拾六錢全國無遞送料
廣告料一行四拾錢
本號全部禁轉載
發行所　東京麹町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町五百二十番

本號には附錄として評議員伯爵夫人板垣絹子山形支部幹事櫻庭郁子長崎支部幹事正木照子の肖像を添ふ

## 社説

### ◎接待

友あり遠方より來るまた樂しからずや、互に久濶の挨拶を述べ、先づお風呂をと、今朝からわかして待つて居た湯に案内する、主人は今し方川で捕つて來た魚を燒けのつくれのと指圖する、子供は裏の藪から筍を掘つて來る、家內は鮨を漬ける、鍋の下を吹くと、一家擧つての大騷動、お客が湯から出ると、坐敷にはお膳が据つて、主人がまづ一獻をと出す杯に、とろりとなつて、彼れ一言此れ一言、小い時からの話が出て、子供が大層大きくなつたこと、お互に年を取つたこと、しかし互に無事で目出度いこと、その外樣々の話があつて、他愛ないことにも、心の奥底から笑ひ合ふて、糊のこはい寢衣で、日に曝してブク〱になつた蒲團に埋つたとき、あゝ古い友達は何時までも好いものである、また此所の主人や家內ほど、心おきなく、深切なものはないと、半分は夢に思ふて、グッスリと心地よく寢て、日が高くなつて起きて見れば、何から何まで用意が整ふて、今日一日も面白う暮せる、あゝ旅とは思へぬ嬉しさ愉快さ。

人間の競爭が劇しくなつて、他人を押倒しても、己れ一人好きことせんと、人々血眼となつて、爭へる今の世には、斯る接待は昔の語り草となつて「鉢木」は徒らに謠にうたはれさうになつたとは、誠に情ない次第ではありませぬか。

接待の行はれた時代又は國は、風俗淳朴人民誠實にして、他人を尊敬し、其權利自由を重んじたものであります。たとひ社會的階級の區別が、種々の束縛を加へたにせよ、接待を受ける人と與へる人の間には好意、寬恕、堪忍、禮義、其他の美德が行はれて、引いては一般に其影響を及ぼしました。接待の味の分らぬ人には、本當の社會的生活は出來ませぬ。世の中は持ち合ひて、自分が人の世話をしたり、世話になつたりして、行くものですから、人をよくして置けば、また自分も人からはよくされます。

古今の接待の工合を見ますと、一つ大層違ふた所があります。昔の接待は、主として親戚交友の狹い範圍に止り、又個人的でありましたが、今日はこの種の接待の外に、知ると知らざるとを問はず、大きな主意から、多人數を接待することを致します。例せば孤兒院の子供に御馳走をするとか、一日遠足につれて行くとか、數入りに小僧を寄せ集めて、演藝を見せるとかといふはそれであります。

日露戰爭は、精神上種々の利益を國民に與へました中にも、一たび衰へかけたこの接待の風を再興致しまして、以前にもました立派な主意、大きな規模で以て、之を行ふやうになつたことは、その著しい利益の一つであると思ひます。それは國民が軍人に對する接待をいふのであります。先づ入營する兵士に對しては、一町又は一村が擧つて之を厚遇し、出征の兵士に對しては、加ふるに其通過する各驛に於て、心底からの接待があり、傷病兵の歸還に際しても同樣の接待があります、又出征軍に對する恤兵慰問も、間接の接待に違ひありませぬ。すべて此等の接待は、受ける者の、物質上の利益の外に、與へる者と受ける者が、精神上の滿足を得ることは、非常でありまして、其國民の氣風上、道德上に及ぼす影響は、實に量るべからざるほど、大且善なるものがあります。而して今また此接待が、直接の軍人に與へらるゝのみならず、其遺族に最も麗しき形に於て與へらるゝに至れるは、一層厥の美を濟せるものと云ねばなりませぬ。

一昨日より本日に亘り執行せらるる招魂祭は實に未曾有の祭典でありまして、畏れ多くも天皇皇后兩陛下の御名代及び東宮同妃兩殿下の臨御あらせられ、且參拜の遺族に對しては從來例なき、離宮拜觀等の特別の優遇を賜ひたるは、戰死者在天の靈は勿論、遺族、延いては我々臣民の感泣拜謝して止まざる所でありますが、それと同時に公私の團體が、遺族に對して、種々の優待を加へられたることは、また實に感ずべきであります、斯る待遇こそは、眞の難有味となるので、誠に一大美擧であります。而して我が愛國婦人會が他と共同して、其接待に盡力したるは、會の性質上然るべきことゝて、能く其任務を盡したるものといはねばなりませぬ。今後戰爭の發展につれて、種々の形に於て、此接待を要することが多いからうと思ひます、我等は益々我が國民、我が國婦人、我が會が、これに向て盡力せられ、昔より一層大にて、深厚なる接待の美風を、培養助長して、文明國の眞面目を發揮せられんことを希望致します。

### ◎戰死者

人生、死よりも大事なし、而して其死を以て事に當る、其目的の小にして、言ふに足らざるものに於ても、また自ら壯烈偉大なる所なくんばあらず、況んや其目的の高尙にして、純潔なるものをや。戰爭に國に殉するが如き、蓋し其尤なるものなり。

### ◎首功

日露戰爭に於ける我が赫々の勝利は、固より出征軍人一統の功に歸すべしと雖も其首功を論ぜは、先づ三萬餘人の戰死將卒を推さゞるを得ず。彼等あつて、志氣こゝに振ひ、戰へば必ず勝ち、攻むれば必ず取り、國威これが爲に揚り、國力これが爲に膨脹せしなり。彼等は獨り戰勝の恩人たるのみならず、また國家の恩人なり、國民の恩人なり

### ◎遺族

然れども、彼等は其偉勳を遺して、其身や乃ち亡きもの。如何に國民が謝恩の誠意を致さんとするも、彼等は直接之を享くること能はざるものなり。然らば國民はたゞ其恩を受けて報ゆるに由なきを、遺憾とするの外なきか。曰く在り。彼等の遺族あり

### ◎謝恩

遺族は戰死者の第二の我れなり。其死の瞬間までも、胸臆に往來せし者なり。遺族は彼等の肉なり身なり。在世中の至寶たり、生命たりしものなり。遺族に對する慰藉援護は、即ち戰死者に對する謝恩なり。此外謝恩の致し方あるべからず。茲に本會の起る所以なり

### ◎大事

遺族は戰死者の最も大事にせる人々なり戰死者を大事する國民は、戰死者の大事にせる者を大事にせざるべからざるは至當の順序にあらずや。

### ◎不幸

飜つて遺族の側より之を考ふるに、一家に殉國の戰士を出せることは、家門の面目之に過ぎず、子々孫々語り傳へて、無上の名譽とすべきものなれども此名譽と同時に、また斷腸悲痛の止むべからざるものは、人間自然の情なり。嘗て圓滿幸福なりし家族は、今や不幸寂寞たる遺族と化し、終生深痛を胸に印して、如何なる世の歡喜快樂も、面白からざる身とはなれり。而して其こゝに到りし所以のものは、私利を營める結果にあらずして國家に殉ぜるてふ最も高尙正大なる行動にありとせば、國民は如何にもして、之を慰藉せざるべからず

### ◎同情

而して其之を慰むるの方法唯一つあり。國民の同情即ち是なり。同情は實に遺族の生命にして、又力なり。然れども同情とは、たゞ言辭上の慰問を指すものにあらず、言辭上の慰問は、滿腹を與へず、即ち要は實質上の慰藉を與へて、其生活に窮せざらしむるにあり。これ遺族に對する第一の心盡しなり。

### ◎子弟の教育

次は其子弟の教育なり。政府の師範學校に於けるが如く、食料月謝の全體を支給して、之を教育する最も可なり。其他公私の學校及び教員は、月謝の免除を始めとして、あらゆる深切と便宜とを與へざるべからず、これ又戰死者に報い遺族を慰むる最も要領を得たる方法ならずや



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◎家庭と園藝

顧問　公爵　島津忠濟

◎家庭と娯樂　世の中に働くと云ふ事は最も必要であるが其裏面には働くために遊ぶと云ふ事も亦必要である其遊びの内でも高尚にして有益なる事を選ぶのが第一である特に日本の家庭に於ては娯樂と云ふ事が餘程缺けて居る子供も女も男も共に遊んで興味のあるのは園藝であらうと思ふ花作る人に惡人なしで天然の美は人の思想を美化せしめ腹の立つ時でも花園に出れば治まると云ふ程自然はよき教訓を人に與ふるものであるから家庭には是非園藝を以て一の娯樂とせん事を希望する

◎朝貌の花　自分は朝貌が一番好きであッて八百種以上の朝貌を養成して居るがこれを作る爲には朝起きの慣習も出來新鮮なる空氣を吸ふ事も出來夏の熱き日も決して熱くなくして經過する事が出來る殊に種を蒔いてから後短期の間に花を見て其變化か甚だしいから餘程興味がある

◎朝貌の變化　種を採取する時に一の樂がある來年は此種で如何なる花を咲かさうと云ふ考で採取する又芽が出て二葉の時既に咲く花の豫想が付き本葉になッていよ〳〵決定する而しいよ〳〵花になッても今日の花と翌日の花とは異なッて咲くから日々に變化して往く有樣を注意して觀察すると餘程面白い

◎蜂の早起　人間が花を見るために朝起るよりは蜂が蜜を釀す爲に起きる方が餘程早い此蜂なり蝶なりの媒介によッて來年の花に變化を與ふる事が著しい

◎蒔時　東京附近は八十八夜(五月二日)過ぎが最もよい土地は可成日光のよくさす處と空氣の流通のよい處がよいが必しも廣き土地を要せぬ大阪邊の如き人家稠密の處では物干臺の上でも作つて居るとの事である鹿兒島あたりは年に二度朝貌が作れるから研究になる

## ◎十分談片

◎評議員鳩山春子氏　近頃の新聞には女子高等教育亡國論などが出て居るさうでありますが私は女子には何處までも教育を怠ッてはならぬと云ふ意見であります人はとかく現在のみを見て將來の事を考へませんが將來善良なる國民を作るには必ず其母たるものゝ教育を確にして置かねばなりません子供が如何に高尚なる事業を爲しても之に贊同し稱贊を與へるだけの母がなくては子も十分の成功は遂げられません子供の指導者となる母の力が其子供より常に劣りて子供から馬鹿にされるやうでは眞の母の務めは出來ないと思ひます今日では女子の爲の最高の教育を與ふる學校は女子高等師範學校でありませう。而して之に應募する女子は必しも教員目的ではありますまいに他に高等なる學校のない爲に年々募集人員を遙に超過して入學か出來ないと云ふ樣子を見ても女子が高等教育を受けんとするの趨勢の盛んな事か分ると分ひます故に私は帝國大學をも開放して一般女子の爲に聽講の途を開かれん事を希望して居ります其途さへ開けて居れは假令之に就いて學ぶものは僅の數でも全國女子の向學心を喚起せしむるに大なる效力があると思ひます今日は英米は勿論何れの國でも大學が女子の爲に開かれて居らぬ處はないのであります日本ばかり閉鎖されて居るのは國家の面目でもありますまい世間の人は今日女子を入れたならば色々な不都合が生じるであらうとの懸念もありませうが其懸念は恰も外人に內地雜居を許したならば日本の國家を誤るであらうと考へたと同一であッて其途を開いて見れば決して不都合は生ぜぬと思ひます女子も高等教育を眞正に受くれば定見が立ち常識的判斷力が就きまして一家の事は勿論社會上の事でも確乎不拔の意見を定めこれを遂行する事が出來ますが教育がないとあつちへぶら〳〵こつちへぶら〳〵今日は右に走り翌日は左に走り常に同一圈內を徘徊するに止りまして一歩進んで向上的生活を營む事が出來ません戰勝國に於ける將來の國民を作らんとするには先つ以て女子の教育を高める事が必要の事と思ひます

◎評議員山脇房子氏　今日では男女に拘らず人格の高き人を貴ぶやうになりましたのは實に善き風習と思ひます如何に學問があつても又財產があッても人格の低い人は世間に容れられないやうになりました故に婦人は自己の人格を高める方法を力めるのみならず家庭に於ける一切の人をしてよき人格の人とならしむる心懸けこそ緊要と思ひます

◎印刷局長得能通昌氏　私は既に二十餘年來此職を奉じて居りますが此事業に對して婦人を使用することは私の親の代から既に着手して居りまして今日では千人以上も婦人を使ッて居りますが男子と殆んど變らぬ程に何の仕事でもよく出來ます婦人を使ふ重なる原因は給料が安いからでありますが私の方では最上給が三拾五圓與へてありますが下手な男子の屬官などを使ふよりは餘程增してあります仕事場に往つて御覺なさい婦人が算盤も置く簿記も付ける器械も動かす何でも出來ます女子の職業と云へば學校教員の外はないやうに世間で思ふは間違であつて婦人の新職業は幾らもある此節は私の方にも高等女學校の卒業生等も來ますが教育を受けたものが後には發達します勞働時間は十時間であるが只婦人は身體が弱い爲に臨時の仕事があつた等の時に永く續いて働くと云ふ事が出來ないのは遺憾である

◎電話課長高原傳三郎氏　電話事業に對しては婦人が最も適當でありまして交換手などは婦人でなくては出來ないと申してもよい程であります他の官廳及商店等にて婦人を傭ふ主旨は多くは給料が安いと云ふのが重なる要點でありますが電話の方では其爲ではありません第一音聲が適當であるし又殆んど器械的に煩雜なる仕事を果すのは男子では到底出來難き事柄であります電話を頻繁に使用する家には婦人の電話擔當者を置かれん事を希望します又話しは語尾が確になくては聞取れませんから電報を打つやうに簡單にして要領を得る事を要し相手方は對話中常に「ハイハイ」と云ふ言葉で受け答へをするが必要であります又電話をよくかける人は左の耳がよく聞えるやうになるのは事實でありまして人の身體は使用すれは使用するだけ發達するのは生理上の原則であります

◎監獄事務官眞木喬氏　監獄へ這入るやうな人は多くは家庭か齊はぬからであるこれは私の常に實見する所又統計の示す所である母が無い家庭も善くないが父の無い家庭は尙更善くない今日の社會では如何に云うても男子の方が教育が高いからして男子の生存中は兎に角教育の方針も誤らず平生大槪の事は婦人に任して居るやうでも緊要な事になると男子が決定して大體の方針を付けて往くから子供も誤らすして育て上げる事が出來るが戰爭の結果父を亡ふた家庭が多いのであるから將來其子に對する教育方法を最も適當になし勇將猛卒の子孫をして其父祖の名を辱しめぬやうにせねばならぬ愛國婦人會の救護す可き遺族と云ふ內には勿論孤兒も包含して居る事であらうが慈善的行爲の骨子は孤兒に眼をつける事が最も上策である其方法の一として學費を貸與して成功の上はこれを返却さす等の方法を取るなども面白い方法ではないかと思ふ

◎神戸在住會員深野いと子氏　私の店は元來洋服の裁縫業を爲して居るのでありますから出征軍人の遺家族を集めて軍服の裁縫を仕て貰ふて居りますが只今では百人斗りも通ふて居られ羅紗服も裁縫されるやうになりました病院の癈兵の方から手紙が參りまして自分は足が無くなつた爲に國へ歸りて百姓も出來ぬから何か手仕事を習ひ覺えて生涯を送らうと思ふから裁縫を敎へて呉れいとの申込をも受けて居ります其他私は出征軍隊が神戸驛を通過される節は國旗及ひ手拭を寄贈し又內地歸還の傷病兵士を慰問する事を一日として怠つた事はありません此節は午前の三時に通過しますから其頃から起きて慰問致し私の眠る時間は平均三四時間ほかありませんがよく働く爲めか幸に最も壯健でありまして私を世人が評して兵士氣狂ひじやと申しますか左樣な事を云ふ人こそ反ッて氣が狂ふて居るかと念ひます

◎陸軍顧問法學士皆川治廣氏　凡そ人が戰爭に於て勝利の味を占めたもの程强いものはないと念ひます一度び勝利を得たものは其味を何時までも忘れる事が出來ず最後の一分間をよく耐忍するの勇氣が生します勝敗の分かるゝも眞に最後の一分間をよく耐忍すると否とにあるのであります此事は戰爭のみならず總ての事業を成し遂けるに最も必要なる事にて人生の門出に於ても先つ最初の勝ちを得る事か最も必要と念ひます

◎第四回作歌募集披露

題花下言志

あだし野にかをりとゞめしものゝふの跡追ふてちる山ざくらばな　東京　五藤敏子

ゑましげに匂ふを見ればみいくさのありとも花はしらずやあるらん　東京　岡田春子

かちいくさかたり合ひつゝ花を見てかへるもをしきさくら木の下　岡山　岡本菊子

朝露にぬれてにほへる花のことこゝろは淸くもちたかりけり　東京　四屋保子

ものゝふのこゝろに似たるさくら花ことしはことにあふがれにけり　東京　川村孝子

さくら花さきのさかりのこゝろもて世につくさましをみなゝがらも　群馬　伏見たき子

◎第五回作歌募集

△歌題　靖國神社

△選者　某公爵夫人△作歌數一人一題三首以下△期限五月廿日限り△優等の作歌は本紙に披露し高點者五人に貴婦人自筆の短冊を進呈す



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

# 巡査

中村春雨

官服いかめしく、兩の肩を張つて、長靴の脚をXに叉み合せ片手では劍柄を押へ、片手では高からぬ鼻の下のしよぼしよぼ生えた鼠髯の先を眞書のやうに捻り尖らせながら三角眼でぢろり／＼入り來る乘客の顏を、何誰も此奴も犯罪人に見えるといつたやうな面構で、一々睨め付けて居たが、今しも大分時代になつた朧虎の裏毛襟の玉羅紗のマントを羽織つて、中折の中古の帽子、眉深に、紫紺縮緬の襟卷くる／＼と纏き附けた、痘痕面の、眼のぎよろりとした五十前後の男、蝦蟇式の口から紙幣や金銀貨を吐いたり、呑んだりして、大分腹の皮の弛んだ、草臥れ切つたやうな、古革鞄ぶら／＼と、車室の中へ入つて來るのを見ると、巡査の眼は物羞ぢする處女の如く瞬かれたが顏を外らさうとする途端、向ふの男と、つい瞳を見合せた、肩は俄かに窄んで了ふ、兩脚のXはHになつて、やがてIの字と密接いて來る、閻魔が、急に地藏樣と造作變へして、二人分の坐にかゝつて居た體を縮め、此所へ／＼と指先で腰掛の塵を拂つて迎へるのであつた、彼の男はそれと見るより「ヤア……」と聲をかけ、高慢らしく鼻先で笑つて、巡査の横へどつかと腰を卸す、「何うも暫らくでした」と一方は小聲である「何うも暫らくてげした」と、鸚鵡返の挨拶、ぢろりぢろりと、檢察官が、被告を眺めるやうな眼色で、帽子から、劍から、長靴の先までも見廻して、ニヤリと一笑した、巡査は愈々小くなつた「何時頃から御奉職です？」「昨年の春からでございます、何も彼も失敗して、仕方がありませんから、到頭こんな眞似をやらんけりやならんやうになりました、……」怖々云つて額の汗を拭いて居る「何うも不景氣ですからな」と一方はシガーを吹かして、愈々得意の鼻を蠢めかすのである「貴方の御商賣は不景氣不知で結構ですな、今日は何方へ御越しですか？」「此の奥の雜木山へ出かける處でげす、拂下を願ふ都合でげしてな」「ハ、ア、又、大分儲かりませう?!」少し位儲けたんぢやア雜用倒れてげすよハヽヽヽヽ」汽車はけたゝましく滊笛を吹鳴らして、もう動き始めたのである、自分は後の腰掛から此の光景を眺めて居たが、彼の官服着けた巡査の、意氣地の無さが齒痒く、此の傲然たる山師の小面憎くも思はれて、猶も耳を澄まして居つたが、暫らく車輪の音に攪亂されて居た話聲の、やがて漸く聞えて來る、「十圓や十五圓の月給ぢやア隨分遣繰が六ッかしいてげせうな」「何か外に、善い職業はありませんでせうか」と、一方の腰は愈々低い「然うですなア……」と、反對に反り返つて、頤の下を撫でながら「ない事もないてげせう……」「一つ、御周旋が願はれますまいか」善うがす、その中、何か見附けて上げませう」二十餘年前、犬殺しの的の棒を脇挾んで、街上を練り歩いて居た時の巡査は隨分威張つたものだ、政府の威光を帽子の徽章に燦めかせて、官の權威を靴の踵に鳴響かせつゝ、所謂人民なるものを睥睨して居た時代の彼等は一種の忌味と共に、一種の意氣を持つてゐたのであるが、何事ぞ、今日此の一山師の前に、四千餘萬の同胞から委託せられた警察權を侮辱するの態度に出つる査公先生を見んとは、自分は一種、憤慨の念に驅られたのである、汽車は次の停車場に着した、巡査は擧手の禮をして、さつさと下り立つた、山師は帽子も脫かず、默禮した限、例のニヤ／＼笑つてその後姿を眺めて居たが、程なく發車の驛鈴が聲高く驛の內外に鳴り響いた、忽ち泡くつて、車室へ驅け入つた巡査がある、見るとその眼は輝かしく、その顏は血汐の色に燃えて居る、いきなり山師のまへに突立つて「君、令狀だ、拘引するッ」、その聲は凜として金鈴の如く響いた、山師は開いた口が塞がらないで居る、自分も瞳を凝らして、始めて、以前の巡査なるに氣附いたのである、室內皆、色めき渡つた「何したんだ、君そんなに嚇かしたりなんかしなくても善いぢやアないかハヽヽ」とわざと落着いてせゝら笑ひ「此處の停車場に電報が來てたんだ、君は官吏と共謀して文書僞造罪を犯したさうだ、令狀に依て拘引する」後からつゞいて一人の角袖が入つて來た山師の面色土の如く俄かにぶる／＼と慄え出したのである「君、見逃してくれ、二三日、待つてくれ「職權だッ！」巡査の顏は此時日の如く輝いた、その聲音は權威あるものゝ叫であつた、余は實に此の巡査の爲に謂不知、嬉し淚をこぼしたのである

（完）

## ◎獻身諫夫

（松平安藝守吉長夫人）

須藤求馬

松平安藝守吉長夫人は前田宰相綱紀の息女なり、天稟武勇を嗜み、乘馬打物に達し、殊に長刀鍛錬の聞えあり、侍女半下に至るまで、皆氣性ある者を召使ひ、弟中將吉治も、亦馬上の達者なり、かくて、世人は夫人を呼て「安藝の御前」と稱し、天下に隱れなき勇婦なり、吉長との中らひもいと睦まじく、御子二方おはしける、嫡女は松平肥後守の嫡男正甫の內室となり、次に男子にて岩松丸とて、いづれも器量よく成長せり、然るに吉長いつしか酒色に耽り、新吉原へ通ひ初め、游女に惑溺す、夫人大に之を憂ひ、屢々固く諫めたまひ、暫くは止りたりしが、亦もや始め、更に止る事を得ず、遂に游女花紫歌野の兩人を請出しける、又いかなる者の勸めにや、野郎陰子に心を動せり、夫人亦復吉長に向ひ、斯様に申上る事、定めし嫉妬と思召たまはん、弓矢の神に誓かけて、更々然やうにては御座なく候、全く世上の聞え、且つは彼場所は下賤無頼の輩常に多く入込むとの由、萬一不法者御座候はゞ、御名を出し申事もやと、千々に心を碎かれて諫めしかども、吉長には馬の耳に念佛とやら、更に感じたまはざるのみか、剩へ芝神明前の陰子を兩人迄請出し、それのみならず、歸國の砌國許へ游女陰子を召連れ給はんとの事なり、夫人又吉長に向て、尤も大名の遊興の餘り遊び者を請出したまふ事は、世になき例にもあらねど、國許迄御供とは餘りなる御事、第一上樣へ聞へ參らせる事もやあらんか、誠に由々しき大事なり、減祿或は國替も測り難し、然ある時は、御家の瑕瑾は申にや及ぶべき、御先祖樣へ對しては御不孝此上なく、且又家中一統の者までへ迷惑難儀を掛くる事大方にあらず、と、言を盡して諫めたまひけるに、吉長更に聽納れざるのみか、却つて大に立腹し、別をも告げずして發足せり、夫人は望樓より見たまへば、游女陰子は美々敷裝ひ、諸士より我儘にさんざめきて立にけり。夫人は局に向ひ、斯くまで醜き爲體を、此多くの家中に誰一人あつて諫むる者なきは如何なる事ぞや、又自からを踏つけに爲たまふ殿の仕方、上樣へ對しても、御先祖へ對しても、此儘打棄置くべき事にあらず、實に一國の安危に繫る大事ぞやと宣へば、局を初め女中ども、一同御尤御道理也と申上げしに、即て夫人は一間に入り、弟なる加賀中將吉治へ細々遺書認め、惜むべし三十一歳を一期として自害し給へり、在あふ女中を初めとし、一同狼狽騷ぎ、局外山澤井中老豐田等抱へ醫師をして手當せしめらる、夫人聞きたまひ、汝等は日頃の程もなき有樣なり、切腹をする程にて生くべき程に切べきか、疾て覺悟の事ぞかし、必な騷ぎたまひぞ、いかに豐田介錯とありしに、外山澤井豐田三人共に追腹仕らんと申ければ、夫人聞きたまひ、追腹は今は天下の法度也、其上又岩松が行末見屆呉れよかし、返す／＼賴むと宣へば、三女は異口同聲假令御勘氣を蒙るとも、御供申さてあるべきか、是非々々御免下さるべしと思ひこうてぞ申ける、夫人は苦しき息の下より、日比孺が目がねに違はず、嬉しき今の志かな、然らば外山澤井は供致せ、豐田は殘らず介錯して三十五日過て後は勝手次第と宣へば、三女は難有仕合とて、御諚と齊しく外山澤井は自害すれば、豐田は甲斐々々敷介錯をいたしぬ、哀れと云ふも愚なり、此由前田家へ急報せり、吉治は此報知に接し、馬に鞭うち只一人一さんに驅付け、吉長を呼戻し、事の理非を糺さんと大に憤りければ、家中一同は上を下へと混ぜ返し、急ぎ吉長へ注進す、其夜は戶塚の泊にて吉長は宿りぬる處へ早打の注進到來して大に驚き、先非を悔ひたまへども力なし、因て又早打にて江戶へ歸られ、厚く葬禮を營みたまへり、かくて豐田は三十五日過て、菩提所に於て見事に自害して果たりけり、揃に揃ふて烈婦の振舞、いみじき事のかぎりなり、



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

## ◎子供の飲食物（生齒後のもの）

◉常食物としては米飯麥飯饂飩蕎麥素麪粥雜炊など總べて善く煮たるもの團子餅類は消化惡し

◉消化易きもの又は淡き魚類即ち鯛比目魚鰈鱚鮎等の吸物刺身煮魚燒魚はよし總て脂肪こき物硬き物鹹き物は惡し

◉肉類にては牛肉の軟き部分のスープ又は之を能く打いて煮たる物或は鷄の良き肉にて造りたるスープなどよし

◉肉類は夏時分には新鮮に過ぐるもの多き爲に硬き事ありかゝる時は其肉の上に少許の酢を撒布し十五分程置けば軟くなる

◉滋養物は必しも肉や乳に限らず魚肉でも鳥肉でも畢竟其滋養分に濃薄の別が有るだけて食て後の滋養には大した變りはない

◉何程滋養のものも己の嫌ひの者を用ふれば養ひにならず却ッて害を爲す

◉野菜の類は小兒には消化の惡しきものなり併し柔き青豆柔き菜胡羅蔔等のよく煮たものはよし牛蒡蓮根茄子胡瓜南瓜の類は用ひぬがよし

◉三年も經過したる正眞の赤味噌は大變によし殆んど牛乳と同じ價値あり

◉豆腐は二歳以上の小兒には食べさしてよし

◉飲料は精良の水沸冷水牛乳等一番よし白湯番茶の淡きもの麥湯等もよし

◉茶は一の興奮劑で心臟を犯す作用を有す上茶を用ひず番茶を用ふ可し

◉珈琲も茶と同樣なり氷水は一切與ふ可からず酒類は總て毒藥と思ふ可し

◉小兒が少し腸胃工合が惡しき時殊に下痢などあるときは葛粉湯粥ゆなど飲ますべし又鷄卵湯蕎麥湯などよし

◉間食物は粔籹輕燒の類煎餅は鹽煎餅砂糖煎餅麵餅ビスケット等がよし又飴類もよし

◉菓子は上等品になる程小兒には惡しゝ蒸菓子の如きは半分以上砂糖なり小兒が此味ひを占める時は決して他の菓子を食はざるに至る注意すべし

◉好く熟したる果實の類は少しく成長したる小兒には與へてもよし而し夫れも夕景からは與へぬがよし

## ◎如何なる下女を備ふ可きか

◉大事に於けるがごとく小事にも注意を爲し聊も僅なる仕事を丁寧に取扱ふ婦人

◉一度び請合たる事柄は如何なる困難を排しても其結末を付ける勇氣ある婦人

◉誠心誠意主家の爲めに盡すの心掛を有し自らの利益と云ふ事は第二に置く婦人

◉如何なる卑賤の業務と雖も喜び勇んでこれを行ひ其仕事に興味を有する婦人

◉疑はしき言ひ付けは斷然反問の言を發し正確適實に實行をつとめんとする婦人

◉毛髮は秩序よく結ばれ身體衣服を清潔にし常に攝生に注意を怠らぬやうな婦人

◉爪の先きは常に圓滑にして清潔となり何等の黑點をも認む可からざる丈の婦人

◉物の言ひ方最も溫良にして先方の顏をよく見て語り他人に惡感を起さしぬ婦人

◉他人を誹謗し人の功名を顯はすを妬み己の働きを手柄らしく語らぬやうな婦人

◉人の見る前だけにて働くやうな事をせず隱れたる場所にてもよく働く可き婦人

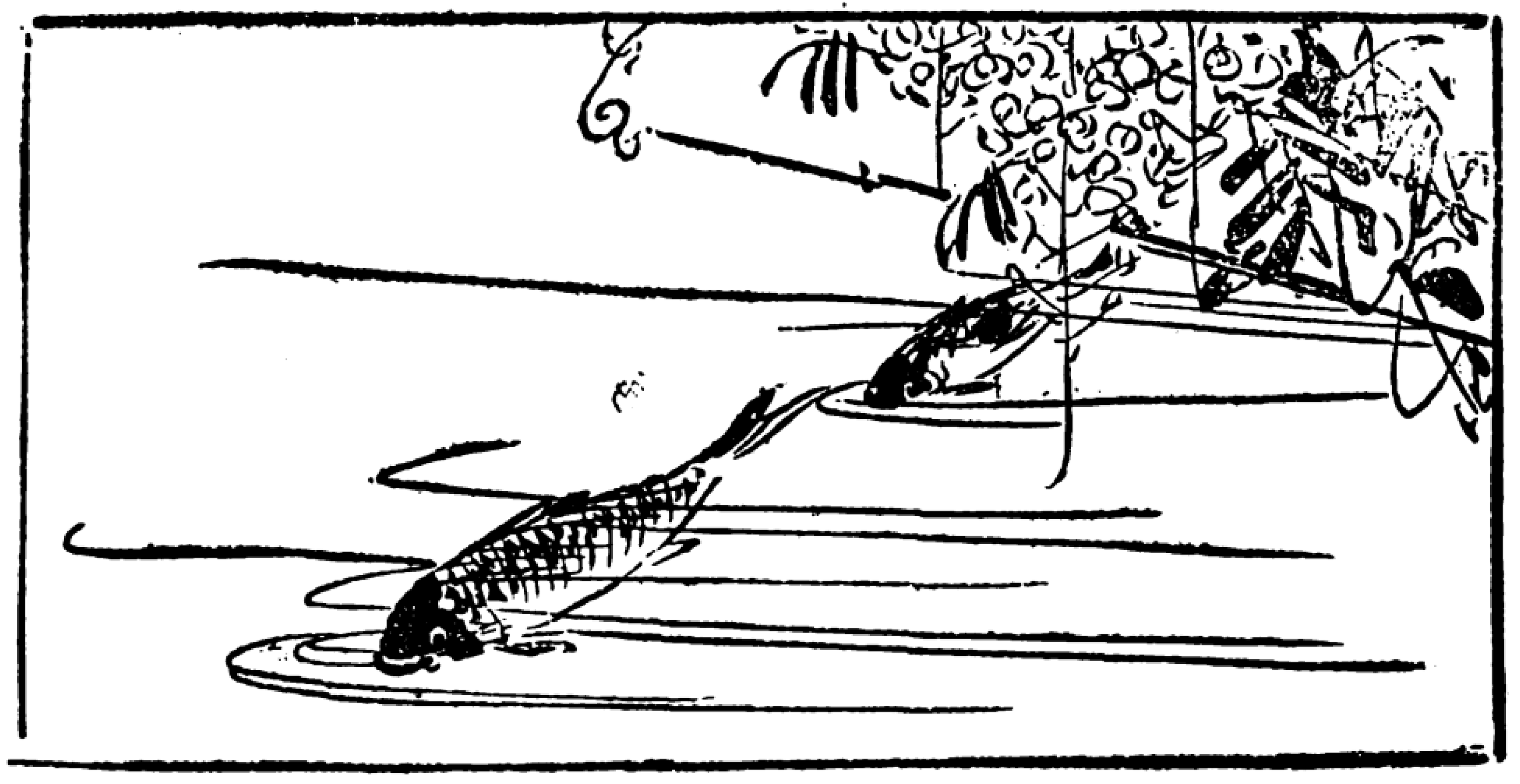
## ◎電話のかけ方

電話課長通信技師　高原傳三郎氏談話

◉電話上の禮儀　電話の上にも禮儀を守らねばなりません電話をかけるに當り先方が眼上の人なるにも拘らず小僧なり給仕なりをして先方の主人を呼び出させて置き乍ら暫くして自分が電話にかゝるが如きは禮儀を失つたやり方であります呼び出すまでは給仕にかけさしても先方が出ぬ内に直ちに代る事にしたがよろしい

◉御話中の掛札　近頃よく見受けるが種々なる人が電話をかける内では御話中の掛札が流行するやうであるがこれは惡い事では無いが其札を取外すのを忘れて何時までも掛けて置く時は利より反つて害になる

◉黑板と切紙　又電話の傍に黑板を備へて電話の要領を控へて置く家が往々あるがこれも便利であるが紙を小く切ッて其處に吊下げて置いて數量又は住所等は直ちに書き取るのが最も便利の方法である



◉電話と清潔　電話機は最も多數の人が接するのであるから清潔にして置かねばならぬ此節消毒器を交換局で許可したやうになつて居るがこれは消毒が適當に出來るから許可したと云ふのではない只器械に害にならぬから許可したと云ふのである局では一通話毎にアルコールを吹きて消毒する直ちに蒸發するから至つて便利である

◉五百番　交換手の取扱ひが惡かつた時には直ちに何の局でも若五百番へ申出て貰ひたい交換手と彼是爭論せない先きに五百番へつないで貰ひたい五百番へつなぐと交換手に憎まれるからなどの遠慮は御無用である私の方は御客樣があッて經濟が立つて往くのでありますから商店と同樣に心得て執務するやう訓令して居ります

## ◎郵便の出し方

飯田町郵便局長　宮本良太郎氏談話

◉郵便柱函の一定　自分の郵便は何處の辻角のポストに落す事と常に一定し置く事を要します何故なれば紛失する時に調べが早くつきます但しそれは秘密にして置かねばなりません

◉出した時間の記憶　何時に投函した事を正確に記帳して置く必要がありますこれも紛失の時に調べが早く付き又事柄に依ッては宛名の人に對して自己の信用を正確に保つ事が出來ます

◉封印は要せぬ　普通郵便の裏に態々檢印を捺すものが往々ありますが斯樣にしますと却ッて大切なものが中にあると思ふて開かれる恐れがあります

◉宿所を太く　宛名より宿所を太く書き國名よりも縣名を切手貼付は表面左方上部小包には信書を入れぬ事等は一般の掟である

◉受取の際　郵便を受取る下婢などを一定し置き家のもの誰れも彼れもが受取らぬ事にしたい不屆き等の節調べが早い受箱は堅牢にして且つ鍵を下ろされるべく報知器を備へ付けて貰ひたい

◉本文なき電報　歐洲には往々行はれて居る假令ば神戸に着きたら電報を打つから電報が來たら無事着いたものと認めるときの如き本文はいらぬ僅かの字でも書くと後ちから來た依賴者の爲に迷惑であるからとの事である日本では十五字書けるとなれば一杯書かねば何か損んになるやうに思ふが決してそうでない簡明を貴ぶものである

◉電話託送電信　電話のある家はなるべく電話によッて電報を送る事をするのが最も便利であッて多くの人の手を省き又早く先方に屆くものである其方法は東京なれば本局へ其よし屆出てゝ置きさへすれば翌月二十日迄に其月分の電報料さへ拂へばよい但し一通につき三錢の手數料が入る

◉字體　明瞭を貴ぶが十エンオクレと書てはいけぬ、一〇エンオクレと書かねばならぬ自分の姓名を秘密に打たんとする時は本文に記するのである

## ◎如何にせば惡しき子供が出來るか

◉清潔を好まぬ子を作らんには衣服を汚しても之を洗はず其儘に放任し置く可し

◉怠惰なる子を作らんには朝寢ぼうをするを起さず學校を何時も遲くするやうせよ

◉品性の低き子を作らんには室內に何等の裝飾をも爲さず室を亂雜に取散し置けよ

◉家を思はぬ子を作らんには先祖の祭日などを行はず墓などにも參らさぬやうせよ

◉發達の遲い子を作らんには成可門より

## ◎泰西婦女訓

◉眞正なる自由は適宜なる服從によッて得らる夫權を重じて後ちに自由を得る也

◉一家に規律の必要なるは軍隊に規律の必要あるに等しこれ無くば進歩發達なし

◉人を敬ふは自ら敬ふなり人を侮るは自ら侮る也尊敬と服從とは人を大ならしむ

◉服從は意志の强固なる證據なりよく己に勝ち情を抑へ慾を制せざれば不能なり

◉善き衣服を着るも心の美を飾る能はず實力無き人に限て外觀を裝はんとする也



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 愛國婦人會記事

◎評議員例會日取　五月中の評議員例會の日取は左の如し

五月十日（第二水曜日）五月廿四日（第四水曜日）

◎評議員例會　去にし二十六日開會せし評議員例會の出席者は岩倉會長始め島津近衞の兩理事池田評議員以下廿餘名にして、靖國神社祭典執行の際遺族接待の件を議したり

◎閑院宮殿下奉迎　去にし廿二日閑院宮殿下御凱旋につき會長始め島津理事以下職員四十四名新橋まで奉迎したり

◎遺族接待　靖國神社臨時大祭執行の節參拜せる遺族に對し左の方法に依り接待を爲せり

(一)接待事務補助　三日より五日まで、毎日數十名宛の評議員及幹事方靖國神社大祭式場に出張し陸海軍將校中の臨時大祭委員と共に遺族の接待方につき盡力せられたり

(二)茶菓の饗應　本部建物に隣接せる牛ヶ淵公園內に遺族接待茶菓席を設け三日間本部職員及東京支部幹事并に埼玉千葉神奈川の諸支部より來援せられたる評議員及幹事の方には遺族に茶菓を供して多數の遺族の人々を款待せり靖國神社及牛ヶ淵兩方の出席役員總計凡三百名以上の出席なりし

(三)扇子寄贈　來會の遺族に對し紀念として岩倉會長の筆になれる敷島の歌を記せる扇子壹万本を寄贈せり

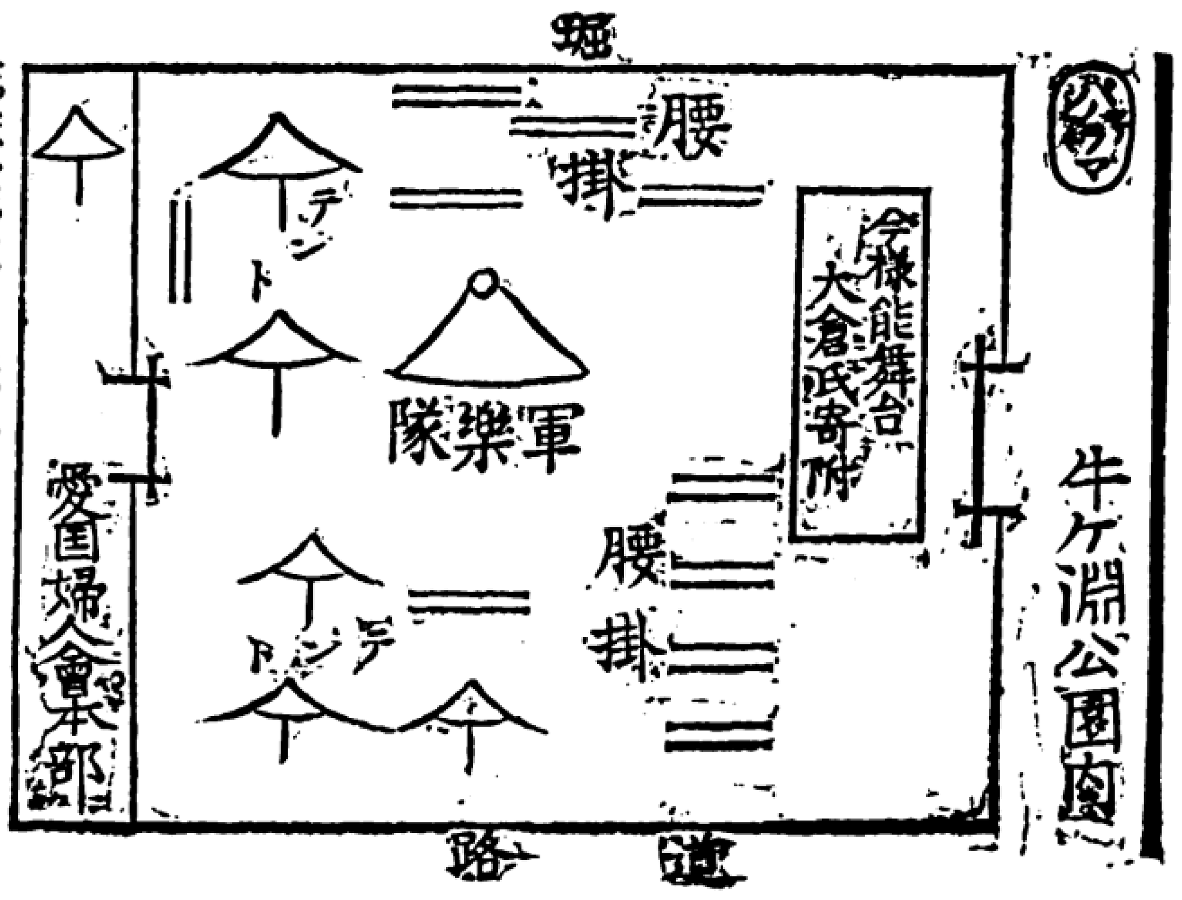
(四)軍樂隊　茶菓席には軍樂隊を招き三日間軍樂を吹奏し遺族を慰めたり

(五)式場案內書配布　「愛國婦人」の號外として式場案內書一万部を作り來會の遺族方に配布し參拜の便利を計りたり

◎接待所　左の如き接待所を設け當日遺族を接待せり

尙「愛國婦人」の號外には神社境內の案內圖をも畫き添へたり

愛國婦人會　寄附遺族接待所




◎接待方通知　本會は其主旨を貫徹させん爲に左の通牒を發し遺族慰藉の爲め本會員の活動を求めたり

拜啓御清健奉賀候陳は昨日幹事會議決之結果に基き來月三日より三日間靖國神社臨時大祭に際し本會に於て各地よりの參拜遺族方に對し相當慰藉の途を實行候事に相成候に就ては左記當日御出席の上特に御勤務被成下度候扨此度參拜遺族方の心中を察せば愴痛傷の至に御座候されどまた國光と國力の今回戰死者の御働きに依り彌々發揮され益々充實さるゝに至りしは我々國民として深く感激せざるを得ざる次第に有之候幸にもこゝに多數遺族方の參集を機とし會員三十六万の懇篤同情の眞ごゝろをあつめ出來得る限りの力を盡くして是等遺族方に感謝の意を表しなば一は幾多戰死者の靈魂を慰め一は戰國婦人として幾分か義務を盡すの一端と存候間乍御苦勞御許様にも當日は萬障御差繰何卒風雨にかゝわらず御出席の上國家の爲め本會の爲め御活動御盡瘁の程願上度尙役員分配の都合も有之候間御出席之有無折返し御一報可被下度匆々不備

愛國婦人會長　公爵夫人　岩倉久子

◎靖國神社へ寄附　左の目錄を添へ寄附したり

拜啓別紙目錄還今回靖國神社臨時大祭に付奉納致候間可然御取計相願候也

但茶菓席は牛ヶ淵公園內に設け參拜遺族に饗應致し度候也

明治三十八年四月廿六日　愛國婦人會

靖國神社臨時大祭委員御中

目錄

一扇子　價格五百圓

一茶菓席　價格千二百五拾圓

一樂隊　價格六拾圓

愛國婦人會

◎谷子爵并に同夫人　本會顧問谷子爵并理事たる同子爵夫人は高知支部の大會に臨席したり

◎岡部子爵夫人　本會の會員遊說の爲に靜岡岐阜奈良和歌山等の各府縣の遊說を終へ目下其舊領地たる泉州岸和田に滯在中なるが近日渡韓せらるゝ筈なり

◎佐藤會計監督　本會の會計監督たる宮中顧問官佐藤正氏は本月一日正四位に敍せられたり

◎奧村刀自　高知支部大會に臨み夫れより大分支部の大會に臨席したり

◎本會懸賞扇子寄贈者　前號の「愛國婦人」に於て廣告せし恤兵用の扇子寄贈者多く其寄附者左の如し

千本　公爵夫人　岩倉久子
千本　公爵夫人　德川樂子
千本　公爵夫人　毛利安子
千本　公爵夫人　島津田鶴子
千本　前公爵夫人　近衞貞子
千本　侯爵夫人　山內禎子
五百本　侯爵夫人　鍋島榮子
千本　侯爵夫人　大山捨松
五百本　伯爵夫人　戸田極子
五百本　伯爵夫人　酒井夏子
五百本　前伯爵夫人　酒井よし子
五百本　中山幸子
五百本　三井榮子
五百本　早川見子
參百本　東鄕てつ子
參百本　伊集院繁子
貳百本　佐々木芳子
貳百本　佐藤正
貳百本　稅所えい子
百本　伯爵夫人　板垣絹子
百本　佐藤猶子

◎有功章贈與　左の人々に此程有功章を贈與したり

愛國婦人會有功章受領者

根尾千代子　渡邊玉子　古賀愛子　吳秀子　小川一眞

谷口柴代子　眞理類子　內海菊子　古川シマ子

岩井壬生子　二見金助　船越せい子　周布公平

◎寄附金披露　其後拾圓以上の寄附金者左の如し

一金千圓　公爵島津家　島津正子
一金二百五拾四圓四拾錢　在米國桑港　邦人有志慈善會
一金貳百壹圓五拾錢　在米國　岡崎高夫
一金百圓七拾五錢　同　小尾幹藏
一金百圓七拾五錢　在米國桑港　邦人飲食店組合
一金六拾七圓　米國人　コックラン
一金五拾六圓九拾貳錢　在米國桑港旅順陷落祝賀會　代表者　中田辨吉
一金五拾五圓七拾八錢　在米國　鴻池政治
一金五拾壹圓八錢　在米國ライツ日本人會　代表者　山本幾太郎
一金五拾圓參拾八錢　在米國　鴻池キノ
一金五拾圓參拾八錢　同　田中要
一金五拾圓參拾八錢　同　坂吉卆一
一金貳拾九圓四拾九錢　同　鈴木ヘツ
一金貳拾圓拾五錢　同　兩毛人會
一金貳拾圓拾五錢　同　柳山錠
一金拾圓九拾八錢　同　我妻作太郎
一金拾圓拾九錢　同　塘地武治
一金拾圓拾五錢　同　河原屋
一金拾圓五錢
一金拾圓拾五錢
一金拾圓拾五錢
一金百圓
一金百圓
一金五拾圓六拾參錢
一金五拾圓
一金五拾圓
一金五拾圓
一金貳拾圓
一金貳拾圓
一金貳拾圓
一金拾圓貳拾參錢
一金拾四圓拾參錢

同　宮川金太郎
同　田村鶴之助
米人　ミス、ヒッコット
日本橋區　小林三津子
同　龜澤キヨ子
在布哇　パ、エン、ウイルコックス
英國　エンスパリー
在東京　ジョン、プラット
本郷區　エ、ディー、コール
同　岡野俊子
同　野きみ子
在東京　スヌープン夫人
在東京　スチーブンス孃
在東京　ブレースデル夫人
在布哇　プロードベン
同　フフッド、ダーカー

米國桑港には昨年十一月該地總領事の夫人上野トク子氏に委員長を囑托し其後同氏の盡力に依り今般寄附金會費贊助金を併せて金貳千九百六拾參圓餘を本會に送り越されたり

## ◎各地支部の狀況

◎大分縣支部　本月卅日同支部第一回總會を開きたり本部よりは奧村刀自及富樫遊說員出張したり

◎岩手縣支部　五月二日第一回總會を開き本部よりは去月卅日評議員棚橋絢子氏出張したり

◎埼玉縣支部　今會靖國神社大祭に對し本部に於て遺族接待の擧あるを聞き態々上京の上本部員と共に盡力せらる

◎神川縣支部　同　上

◎千葉縣支部　同　上

◎兵庫縣支部　川邊郡總會を五月十五日開會する筈に付き本會遊說員富樫眞喜子氏へ出席方申請し來れり

◎高知支部　去月廿三日午前十一時高知公園に於て支部發會式を擧行したり式場は三の丸にて入口には綠門を作り額面を揭げ北方には新らしく假屋を作り中央には大國旗を立て三方に張りたる各國旗は春風に飜り二千五百餘名の參列者は此會場に充滿せり午前十一時式は始まり會員來賓席定まるや中川支部副長の開會の辭あり女生徒の君が代の唱歌につれ正面に奉置されたる總裁殿下の御眞影の扉は開かれぬ一同起立最敬禮を行ふ谷子爵恭しく總裁殿下の御諭旨を捧讀し次に宗像支部長の奉答文朗讀あり續て松山幹事事務の報告を爲し夫れより有功章賞品の授與あり次に奧村刀自の挨拶あり總て君が代の吹奏に連れて扉は閉鎖せられ一同敬禮す松山幹事閉場を告げ是にて全く式を終はりたり是より縣下名物の秋山花踊りの餘興あり數十名の壯者白刃を閃かし舞踏する樣實に勇壯にして軍國の餘興としてはゐさはしきものなりき尙同日本部よりは谷子爵同夫人奧村刀自富樫まき子等出張したり

◎大阪支部　久保田文部大臣は去月十九日大阪支部につき遺族授產場の模樣を一覽したり尙攝津大椽は同支部の爲に慈善演藝會を開きたりと云ふ

◎愛媛支部　同支部募集中の慰問袋は五千個以上に達したりと云ふ

◎京都支部　閑院宮殿下同地に御着の節評議員幹事等停車場に奉迎し評議員の有志より花籠を捧呈したりと云ふ

◎山梨支部　今回出征軍人家族の爲めに麥稈眞田講習會を開き又假工場を設け生業扶助として同業を獎勵することに決し來る五月上旬より右講習會を開催する由

◎岡山支部　同支部の一事業として岡山市內西公園に幼兒保育所を設けたるが什器等の寄贈を申出づる有志者數多あり且つ幼兒の保育を依托するもの日々に增加せりと云ふ

◎岡山支部　同支部にては近々支部總會を開くよし同地の新聞に見えたり

◎新潟支部　同支部南蒲原郡三條町に於ては會員有志の方の盡力にて慰問袋調製中なり西蒲原郡幹事一同勸誘の結果新加入者多しとの事なり

◎福島支部　同支部の慰問袋三万三千餘人の寄贈者ありたりと云ふ

◎廣島支部　安藝郡にては栗原夫人は目下各郡部に出張勸誘中なりと云ふ

○正誤　四月三日號外として發行したる「愛國婦人」の內遺族接待員の姓名中「前公爵夫人毛利安子」氏の姓名を脫落せしは全く編者の誤りにつき此に謹んで其粗漏を謝す



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 戰報

●第三艦隊新嘉坡通過の報　敵の第三艦隊が廿九日夜新嘉坡沖を通航したりとの電報は各新聞に掲げられたり然れど其筋よりは未だ同所通過の公報發表なきも廿九日外務省着電の汽船カザリン　アプカー號が同日ヒナンよりの報道に係る廿七日午後八時過十五隻の艦船ヒナンの南方六十哩の點を東方に向ひ航走中なるを見たりとの報は確實なる出所にもあり其航程を數ふれば二十九日夜新嘉坡沖通航の電報に接するは當然の日取なるべく總て他の方面へも確報到達することゝならん又同艦隊中に戰鬪艦スラワの加はり居る如く報ずるものあれども今日までの情報に依れば同艦は尚ほ艤裝中に屬し第三艦隊と同時に發航せざるが如し

## 雜報

### 音樂界

▲日比谷公園の奏樂堂　殆んど落成したるを以て落成式を兼れ演奏會を開くよしなり△洋樂の流行　音樂學校に入學志願者多く殊に一橋の分校は女學生の專門家以外に洋學の普及を計る目的にて設立しあるを以て入學を願ふもの多きよし▲田中博士　洋學音樂家として有名なる田中博士は日本音樂を研究中なるが此節は謠曲を研究中なりと云ふ▲外人の音樂會　本月一日音樂學校に於て開きし音樂會は重に外國人の有志團體より成立し外國人の子弟を教育する目的を以て作られたる東京學校補助の爲に開きしものなりと云ふ▲靖國神社奉納の能　靖國神社附屬の奏樂堂に於て奉納の能は各名家打揃ふての事なれば最も美事なるものなりと云ふ▲又牛ヶ淵公園なる今樂能は泉祐三郎氏管理する處にして大倉氏は當日特に觀客の爲に座數を設け二日間行ふたり▲音樂界の消息　東京日々新聞は數日の余白を割いて斯界の爲に精密にして而も正確の報導を爲せり音樂會の比評は多く日本讀賣の兩新聞受持なり

### 運動界

▲海上の運動場　東京教育會附屬として女子體育獎勵の爲に開きし品川の台場は汐干狩りの時期にもあり見物旁々入場するもの多し同所は眺望最も善き處にして品川灣に船舶の出入口なれば白帆の往來絶へず台場の上には腰掛等の備へ附けあり菖蒲候英咲き盛り居り設備としては一二の運動器械あるのみなるが場所も廣く家族同伴にも適せり▲日本體育會の女子部　愛國婦人會の隣りに引移り生徒も多く增加せしよしなり▲堀切の菖蒲　追々見頃になれり兩國まで電車夫れより汽車にて向へば最も便利なり▲大久保の躑躅　見頃にして御茶水より電車通じ居り一日の運動場に適す▲高等女子師範學校の生徒　此程中山法華寺に遠足せりと云ふ▲家庭的競技　目下屋內遊技として流行せり▲井口あぐり女史　體育と踊との關係を說いて曰く踊りにも其一擧手一投足皆其法に叶ひ體操の原理と符合するものなりと說明せり▲體育に關する建議案　今年の議會に僅か五名の差にて破れたるがこれは日本武士道の美風を不朽に傳へんが爲め學生の體育養成法を計りたるものゝよし

### 教育界

▲大隈伯の女子教育意見　は東洋女學校の開校式及女子大學の卒業式に於て發行せられ女子高等教育亡國論の如き恐ろしき學說あるに對して意見を陳べ米國には弊害あるべきも日本に於ては其弊なしとの事を陳べ教育は時代精神に依りて其國情に通ずる方法をとらざる可からず云々との意見を陳べたり▲菊地男爵　不相變の良妻賢母說を主張せり▲日本女子大學　松浦伯より寄附になる茶席は此程落成せしにつき茶室開き會を開きたりと云ふ尙同校生徒數は左の如し

| | | | |
|---|---|---|---|
| 國文學部一學年 | 一〇三 | 家政學部一學年 | 一二二 |
| 同　二學年 | 六九 | 同　二學年 | 一三二 |
| 同　三學年 | 四四 | 同　三學年 | 八一 |
| 英文學部一學年 | 三二 | 英文豫科一學年 | 三八 |
| 同　二學年 | 二八 | 同　二學年 | 五八 |
| 同　三學年 | 一六 | 普通豫科 | 一一二 |
| 合計 | 九三〇 | | |
| 附屬高等女學校 | | | |
| 一學年 | 四九 | 二學年 | 五〇 |
| 三學年 | 九二 | 四學年 | 一〇〇 |
| 五學年 | 九八 | | |
| 合計 | 三八九 | | |
| 通計 | 一三一九 | （內新入生 | 四五〇） |

▲交通機關と女子教育　交通機關の完備するに從ひ女子教育上にも大に便利を與へ電車の通ずる處の學校は自然入學生の數を增加せりと云ふ▲女子商業學校　卒業生の賣ゆきよく會社の簿記方に備入るゝよし

### 慈善界

▲婦人報國會　赤坂溜池演技座に於て恤兵演劇を催し頗る好成蹟を得初日の入場者七百人次日は八百五十人三日も同數にて總收入二千余圓を得たりと云ふ▲義勇艦隊婦人部　歐舞技座に於て大演藝會を催し其收益を寄附する筈なり▲護國幼年團　湯地丈雄氏主唱にかゝる護國幼年會の保護機關となつて働く護國幼年團は婦人の手に依て營まれる事となれりと云ふ▲女學校の恤兵　女子美術學校には展覽會の賣上げ高六百余圓を恤兵部に納めたりと云ふ▲岡山孤兒院　年々皇室より金千圓つゝ下賜せらるゝ事となりたり▲横須賀慈善婦人會　水交支社にて慈善寄附販賣店を出し慈善の資に充つるよし△本所の無料宿泊所　市內を漂泊する無籍ものゝ或は行路病者などを救濟する目的を以て建てられた彼の本所區若宮町の共濟慈善會は都合によりて玆に解散し家屋を其儘東京市へ寄附したるを高島健作といふ人が其後無料にて之を借受け無料宿泊所といふものを設置した此の宿泊所は去る三十四年中淺草區松葉町へ始めて設けられたものだが家屋の狹隘なのと資本の薄弱な爲めに十分の成績を見ることが出來なかつたのである所へこの家屋を無料で貸與さるゝこととなり資本もまた慈善家の補助を得て玆に始めて完全なものを成立することが出來たのだ乃て同宿泊所の止宿を許さるゝものゝ種類は東京へ來て尋ね人の知れぬもの、路頭に迷ふもの、病氣のため糊口に窮して居所を失へるものなど其主なるもので其他懷中に一錢の貯へなく方向に迷ふものには制限を立て一二泊を許し或は壯健のものにても不幸にして失望の極糊口に窮せるものには職業を授くることにして居るが此無一物の困窮者にて同所の保護によりて糊口の途を得たるものは今日まで中々少くない夫から創立以來貧困の旅行者を宿泊せしめた數は一萬二千七百三十三人の多きに達したさうだが今度救濟の途を擴張して冬期警察の厄介物として扱はれる彼の軒下に臥すものをも引揚げて糊口の方法を授くることにしたそうである

### 花だより

○躑躅　日比谷公園、大久保、小石川植物園、根津神社、音羽護國寺、日暮里花見寺、染井巣鴨邊の植木屋庭園○藤　龜井戸、上野公園、芝公園、植物園、向島百花園、靖國神社、深川公園、佃島住吉社、目黑不動○牡丹　本所四日ッの植文目黑內田屋、同大國屋、蒲田菖蒲園、向島喜樂園○ばら　北品川妙花園、駒込動坂ばら新、芝公園薔薇園○菖蒲　堀切武藏屋、同小高園、四ッ木吉野園、蒲田菖蒲園

## 婦人圖書閱覽所

◎婦人に限り閱覽を許し閱覽料無料
◎每日午前九時開所午後四時閉所
◎最新發行の雜誌類一切東京發行の各新聞備付あり
◎寄贈の書籍日々に增加す

愛國婦人發行所

## 「愛國婦人」一手取次及び販賣所

○富山縣　富山市高岡新報支局　安村和吉
○神奈川縣　横濱市伊勢崎町　勉强堂
○愛知縣　名古屋市富澤町　中京堂
○京都府　京都市富小路下ル　愛國婦人會京都支部
○兵庫縣　神戸市　日東館書店
○岡山縣　岡山市東中山下町　愛國堂
○廣島縣　廣島市大手町八丁目　林保登

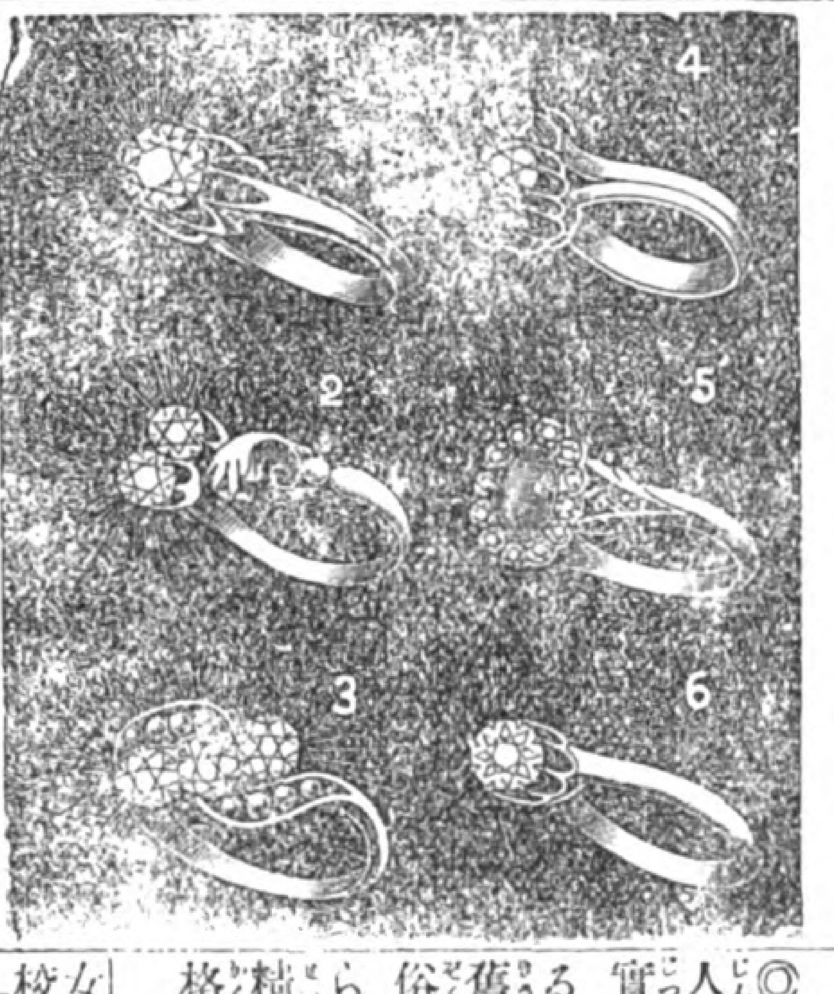

## 第四回通常總會紀念號　愛國婦人會例規類集草案

紙數百五十ページ　一部十二錢　遞送料不要

愛國婦人會第四回總會は本會に於て最も紀念すべき日なり本發行所はこれが紀念の爲め會務處辨上必要缺ぐべからざる本會の規則類を集めこれを小冊子として發行し希望の會員に別つことゝせり冊子は四六判にして百五十ページなり印刷實費金拾貳錢を送くらるゝ方に特に配布すべし

九段牛ヶ淵公園　愛國婦人發行所

## ●最新式寳石入指環




(1) ダイヤモンド一個入甲四百五十圓乙三百圓丙二百圓丁百五十圓
(2) ダイヤモンド二個入甲百八十圓乙百二十圓ダイヤモンド及ルビー入八十五圓
(3) ダイヤモンド二個ルビー一個入二百圓ルビーダイア及サファヤ三個入七十圓
(4) サファヤ一個ルビー二個入甲二十五圓乙十五圓ルビー三個入甲十六圓乙十二圓
(5) チパール周圍ルビー入甲二十五圓乙廿圓ルビー周圍眞球入甲五十圓乙三十圓丙二十圓
(6) ダイヤモンド一個入甲一百圓乙八十五圓ルビー亦はサファヤ入拾五圓拾二圓拾圓

東京市京橋區尾張町　白牡丹本店　電話新橋五五一番

## をんな

每月一回十五日發行　一卷紙數百四十頁以上　定價十五錢　全國無遞送料

◎「をんな」は學識と經驗とに富み、而も婦人問題に熱心なる諸名家の賛助に依り、誠實に女子の本分を完うせん、と心がけらるゝ淑女達の友たらんとを期し、新に流れず舊に泥まず、一宗一派に偏らず、而も世の俗流に阿りて漫りに讀者の多からんよを貪らず、總て不要の裝飾を省き、專ら記事の精選に努め、以て高潔なる婦人雜誌たる品格を保たんとす。

發行所　大日本女學會

## 女子教育

女子高等師範學校教授　文學士　下田次郎氏著

菊版七百九十二頁　定價金貳圓

本書は女子の身體及び精神の研究を基として、新女子教育を說けるものにして、歐米女子教育の歷史及び現況亦詳述せらる、實に本邦未曾有の大女子教育書なり、同事異語もて記せる千篇一律の女子教育中、意見の卓拔材料の新鮮豐富なる他に其類を見ず、されば女性にして自らを知らんと欲する者、世界女子教育の大勢及び女子教育の大勢及び女子教育研究の程度を知らんと欲する者は、本書を措て其要求を充すこと能はさることを確言するに躊躇せざるなり

發兌元　東京市日本橋區本町三丁目十七　金港堂書籍株式會社


## 會告

先般本會は恤兵繪葉書寄贈の催しを爲せし處全國會員より非常の同情を得百三十万枚の葉書を戰地に寄贈するに至りしは本會の最も面目とする處なり依て今般更に本會は夏氣にあたり陸海軍出征軍人及び病傷兵士に清凉を與ふる目的を以て扇子を寄贈致度候（其扇子は堅固に作製し扇面式紙形に岩倉會長筆になる敷島の歌を認め其側に寄贈者の姓名を記入しいと優美なるものなり）付ては來る五月廿日までに會員有志の方は拾本以上幾本にても一本金五錢の割を以て御寄贈方先回の葉書に倍し御申込被下度候也　但し假令へ一本にても御寄贈方取計可申候へ共拾本以上の申込にあらざれば寄贈者の姓名は記入不致候也

愛國婦人會本部



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

…軍人及び病傷兵士に清涼を與ふる目的を以て扇子を寄贈致度候（其扇子は堅固に作製し扇面式紙形に岩倉會長筆になる敷島の歌を認め其側に寄贈者の姓名を記入しいと優美なるものなり）付ては來る五月廿日までに會員有志の方は拾本以上幾本にても一本金五錢の割を以て御寄贈方先回の葉書に倍し御申込被下度候也　但し假令へ一本にても御寄贈方取計可申候へ共拾本以上の申込にあらざれば寄贈者の姓名は記入不致候也

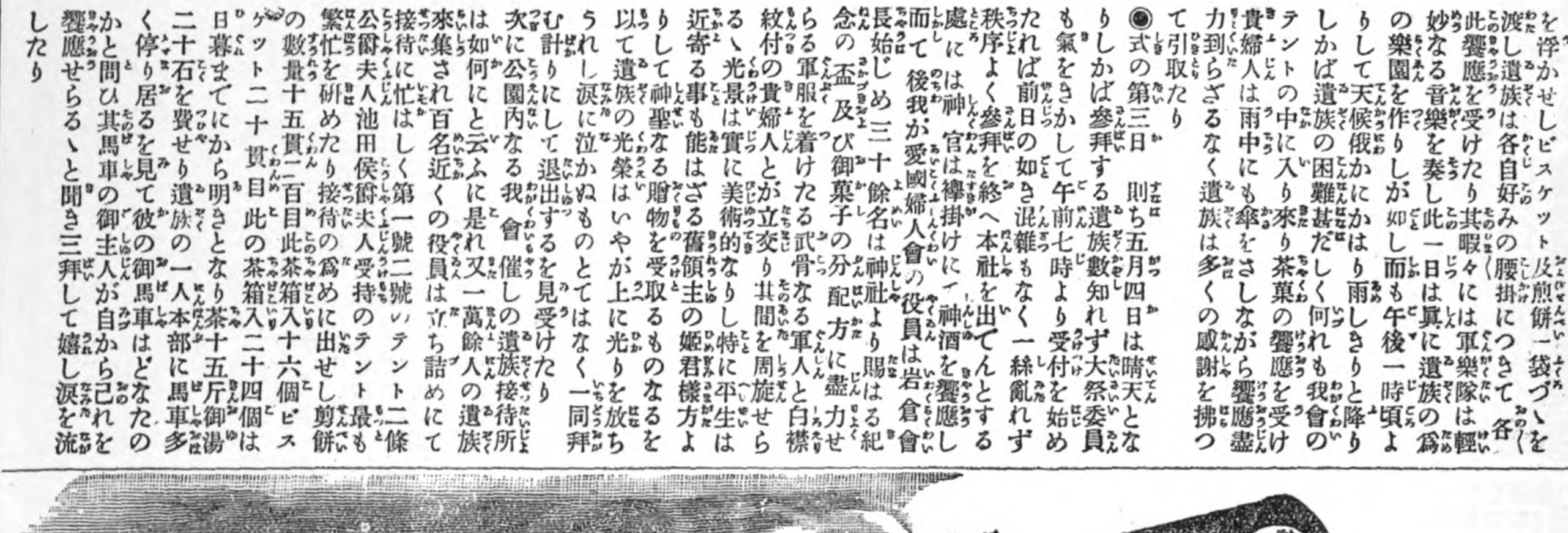
愛國婦人會本部

## ◎靖國神社祭典及本會に於て遺族接待の状況

◎式の第一日　二日の夜先づ招魂祭を執行せられたり式場の左右には庭燎を燒き儀仗兵も參着し諸掛員參列の上宮司靈璽を奉戴して本殿に奉遷するの式あり遺族の内にも既に此席に列せるものありたり

◎式の第二日　神社境内及び牛ヶ淵公園の櫻花は散ッて跡なきも靑々たる若葉は翠色まさに滴らんとす是れ恰も兵士が櫻花の如く散りても其偉勲は長に芳ばしきにも相似たり牛ヶ淵公園なる本會の表門には大國旗を交叉して此盛典に對する祝意を表し接待所は公園の大半を圍みて之にテント拾個を張り中央に陸軍々樂隊の席を設け其周圍に大卓子及腰掛を置けり午前九時頃より貴婦人は雲の如く集ひ來られ今日の主賓たる遺族の人々を待遇せんと待かまへられたり夫れに隣りして大倉氏寄附の今様能舞臺は假作りながら約二千人を入るべき小屋掛にてこゝにも用意萬端調ひて今を遲しと待受けたり九段坂上に登れば左方に立てる川上大將の銅像は帽子を手にせられ謙讓なる態度を以て恰も遺族諸氏を迎へらるゝが如く覺えたり大村氏銅像の左側は奉納の興行物を以て充されたり西端には遺族受付所あり茲には我が會の役員四十餘名詰め切り遺族接待の任に當られたり遺族の參拜時刻は十二時よりなるにかゝはらず早朝より詰めかけ押しかけ來會するもの限りも知らず職員は遺族にそれ〳〵金色櫻花章を渡しこれを襟に付くる等の手傳ひを爲し或は參拜者に贈物を渡す等敏捷に且鄭重に取扱はれ遺族も爲に感涙を催せし程なりき翻ッて接待所の模様を記さん斡旋すべき各職員の姓名部署を一々番號を附して揭げあり職員三百餘名は各々其定めの席に就き門口に於は切符と引替に紀念の扇子（岩倉會長筆になれる敷島の歌入り）及び愛國婦人會徽章を浮かせしビスケット及煎餅一袋づゝを渡し遺族は各自好みの腰掛につきて各〳〵此饗應を受けたり其暇々には軍樂隊は輕妙なる音樂を奏し此一日は眞に遺族の爲の樂園を作りしが如し而も午後一時頃より天候俄かにかはり雨しきりと降りしかば遺族の困難甚だしく何れも我會のテントの中に入り來り茶菓の饗應を受け貴婦人は雨中にも傘をさしながら饗應盡力到らざるなく遺族は多くの感謝を拂つて引取たり

◎式の第三日　則ち五月四日は晴天となりしかば參拜する遺族數知れず大祭委員も氣をきかして午前七時より受付を始めたれば前日の如き混雜もなく一絲亂れず秩序よく參拜を終へ本社を出でんとする處には神官は襷掛けにて神酒を饗應し而して後我が愛國婦人會の役員は岩倉會長始じめ三十餘名は神社より賜はる紀念の盃及び御菓子の分配方に盡力せらる軍服を着けたる武骨なる軍人と白襟紋付の貴婦人とが立交り其間を周旋せらるゝ光景は實に美術的なりし特に平生は近寄る事も能はざる舊領主の姫君様方よりして神聖なる贈物を受取るものなるを以て遺族の光榮はいやが上に光りを放ちうれし涙に泣かぬものとてはなく一同拜むばかりにして退出するを見受けたり次に公園内なる我會催しの遺族接待所は如何にと云ふに是れ又一萬餘人の遺族來集され百名近くの役員は立ち詰めにて接待に忙はしく第一號二號ゝテント二條公爵夫人池田侯爵夫人受持のテント最も繁忙を硏めたり接待の爲めに出せし剪餅の數量十五貫一百目此茶箱入十六個ビスケット二十貫目此の茶箱入二十四個は日暮までにから明きとなり茶十五斤御湯二十石を費せり遺族の一人本部に馬車多く停り居るを見て彼の御馬車はどなたのかと問ひ其馬車の御主人が自から己れを饗應せらるゝと聞き三拜して嬉し涙を流したり

新荷到着
婦人洋服地
幷附屬小間物
帽子及袴地
八木屋號
大國市藏
東京麹町二丁目七番地
電話番町七百四十二

婦人用品 衛生消毒分娩用具

分娩具ハ分娩取揚ニ際シ至テ輕便ニシテ且ツ消毒品ヲ以テ調製シアレハ産褥中ニ生スル許多ノ病毒ヲ撲殺シ實ニ衛生ノ適品ナリ故ニ江湖諸氏ノ御使用御賛評アランコトヲ乞フ
但代價表別ニ調製仕置候間御入用ニ候ハ送呈可仕候

定價表

| | | |
|---|---|---|
| 鶴印分娩川具 | 壹組ニ付 | 金貳圓三拾五錢 |
| 龜印 | 仝 | 金壹圓七拾五錢 |
| 松印 | 仝 | 金壹圓參拾錢 |
| 竹印 | 仝 | 金壹圓 |
| 梅印 | 仝 | 金七拾五錢 |
| 特別胞衣桶 | 壹組 | 金壹圓 |
| 極上 | 仝 | 金七拾五錢 |
| 消毒油紙 | 仝 | 金拾八錢 |
| 別製消毒姫布 | 廿個入壹袋 | 金貳拾錢 |
| 上等姫布 | 仝 | 金拾五錢 |
| 小町綿 | 壹袋 | 金五錢 |
| 小町紙 | 壹帖 | 金五錢 |
| 晒包帶 | 貳入 | 金四錢 |
| 仝 | 壹入 | 金貳錢 |
| 胞衣納器 上 | 壹個入 | 金拾五錢 |
| 仝 並 | 仝 | 金六錢 |

御用
宮内省侍醫局
内務省衛生局
醫科大學附屬模範藥局
陸軍第一師團獸醫部
東京市養育院醫藥局
東京府巣鴨病院
貴族院衆議院
警視廳巣鴨監獄署
各府縣立病院

御用 尾澤商店
牛込築土八幡町九番地
藥劑師 尾澤艮助
電話（番町四百六十一番）

家政百箇條

家政上の法則を簡明に網羅せる婦人必携の書なり軍國の際能く法則を心得家内に無駄を生ぜず堅忍持久せしめん爲に發行せり定價十二錢郵送料不要郵劵代用不苦

大日本女學會
東京市麴町區下二番町三七
（電話番町千三百三十番）

家政百箇條世評一斑
◎國民新聞「をんな」の臨時增刊で料理、裁縫、洗濯汚點拔、家事衛生、家庭教育、禮法、家庭に關する法令等百箇條を集めてある何れも實際適切のなるもので一家の主婦及主婦たらんとするものに取り至極よい心得草であらうと思はれる。
◎中央新聞　家政に關する百般の法則を婦人に辨へしめ軍國多事の際家内に無駄を生ぜずして能く家事を整理せしめんがため特に增刊したるものにして中略記事着實にして妄りに高尙に走らず家を齊ふる婦人の熟讀すべき良書なり。

獻本　日本國教神代史正解　第一
東久世通禧伯題字○天兒屋命五十四代嫡傳吉川惟足講談○同六十三代嫡傳宮澤圓隆編
言文一致體　正價三十五錢　郵税金四錢
本書は神祕なり今や時局に鑑み世に公にして以て吾國體の根元を明かにす
發行所　東京下谷竹町十二番地二號　神祇道本部




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 世界のしんぶん

◎巴里の市債　佛國パリ市は世界中最多額の公債を發行せる市にして其高現今約八拾億圓なりと

◎墨其古の大蛇　世界中最も長身の大蛇はメキシコ國に國するアナコンダと稱する蛇にして總體の長さ三丈七尺に及ぶといふ

◎磁石蟻　南オーストラリヤの熱帶地方にては旅行者に磁石を要せずとは全地には磁石蟻と稱するものありて、其巣の幅の廣き方が正に北に向ひあるが爲なりといふ

◎博物學の問題　博物學上最も奇妙なる現象は鳥は常に後ろに飛ぶ事能はざることなりと

◎長き睡眠　アルトカーといふ所の「ラプレディ農園」にては此の程一人の農夫五十二年間全一の室の全一の床の上にて一度も醒めずして眠りたるが此程遂に死去したりといふ、列仙傳にてもありそふなる事なり

◎危險なる遊技　此程英國メットカーフとスミスといふ兩人が二匹の牝獅子の入り居る檻の内にて玉突の遊技をなせりといふ此の勝負は二十五點ゲームにて或賭を得んが爲めなりき此兩人其技を終りて檻より出てたる時は見物の人ホット息をつきたりと

◎汽鑵車　一個の汽鑵車の生命は十五ヶ年にして其間に得る金高は六十萬圓に上るといふ

◎長男長女　世界中其頭角を現はせる人物の内五分の三は惣領なりといふ

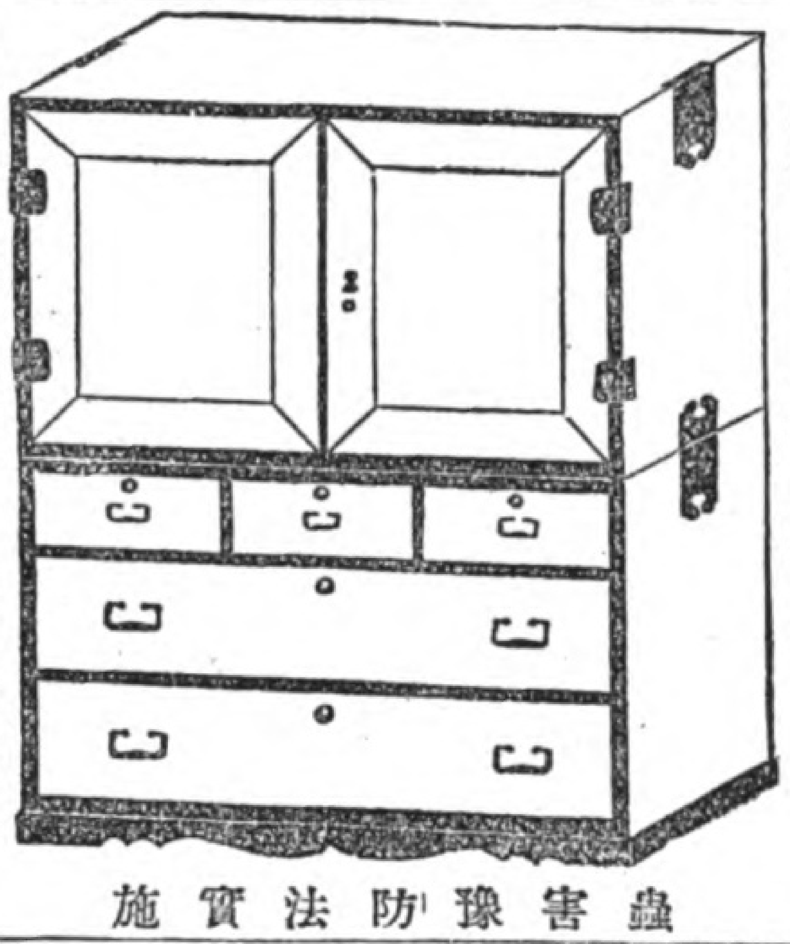
◎竹　竹類は凡そ三十種ありて其内最も短きは五寸にして最長きは百五十尺なり時として其生長の盛なる場合には二十四時間内に二尺伸ぶ事ありと

◎一種の年金　デンマークにては何人にても年齢廿一歳に達して政府は六十五圓を拂込むものは六十五歳に達すれば百三十圓の年金を受るの權あり萬一若年にて死する時は拂込金は沒收せらるゝなりと

現代世界の美裝淵源たる佛都巴里府「シャルコー」病院ドクトルベルガニー先生の發明に成り、目下盛に其上流社會に賞用せられつゝある Matural Beautyてふ美人劑は、我女優マダム川上貞奴が佛國漫遊中、その紳士、貴婦人及俳優間に深く交際し、苦辛慘憺漸くにして探知し獲たる化粧品にして、歸朝後我邦化粧法の幼稚なるを歎じ、此法を毛養カール本舗田中地球堂に傳授す、堂主又大に感激する所あり、乃ち時局の際衛生と經濟の兩途に考へ、其原料を佛國より輸入し之を調製して更にヤッコと命名し、茲に世に發賣せり此ヤッコの効顯は第一顔を洗ふに石鹸より和かにして、皮膚を細かにし、毫もあらすことなく、色を白くして光澤を出し、顔の小皺をのばし、鉛毒を防ぎ、白粉のつきをよくし日本流從來の薄化粧若くは白粉下等を用ひざるも大に眞美を發揮すること頗る妙なり定價壹圓金廿錢全國送料金四錢三個箱入金五拾五錢同金拾錢此箱入には西洋男女の虎の卷とも謂ふべき化粧法の秘傳を詳説せる美本を添ゆ

東京市内は電話本局一三一四、端書なれば東京外神田御成道田代田町田中地球堂へ宛御注文を乞ふ翌日無送料にて配達す各地方は注文狀着順に郵送し一箱以上は小包便にて急送すると云

高等箪笥長持類一式
數代之老舗



蟲害豫防法實施

○御注文に應じ箱類一切入念調製仕候其他御婚禮等御急ぎの節は早速取揃へ御間に合せ可申上候

東京市日本橋區小傳馬町一丁目
長島屋號　長谷川傳次郎
電話浪花一千四百三十五番

# 西洋アンマ膏

西洋アンマ膏は征露軍人方に贈る良膏なり應急の手當として傷口に貼用すれば出血を防ぎ消毒防腐の効能を有す

特効　カタノコリ○リウマチス○ウチミクジキ○足腰の疲れ痛み○齒の痛み○靴ずれ等

正價　貳錢　五錢　拾錢

發賣元　東京日本橋區箱崎町　製藥社

賣捌は何れの藥店にても販賣いたし升

## しらが赤毛の人に告

定價小瓶一組五拾錢中瓶一組壹圓送料十錢

該液劑(媒染液揚染液)は獨逸國醫學博士ビース氏の新發明になり從前有ふれたる白毛染粉とは異り使用方は極簡易僅々十分間に眞美黑色となり數月間不變化の功力を有し皮膚に無害なるは小店の保證する所也白毛赤毛は御試用の上不思議の功能を知られよ明細書希望者は郵券二錢封入申込あれ

發賣元　東京市京橋本材木町三ノ四　岡田商店

# いろは洗粉

本品は「ホーサン」製なるを以て皮膚を細やかにし色を白くし尚頭髮を洗へば光澤を出し頭髮をすなをにすると他の品の遠く及ばざる所なり

本品到る處の小間物店藥種店荒物店にて販賣仕候

汽車　汽船　東海山陽九州各鐵道　日本郵船大阪商船積　臺灣朝鮮歐米行　各地御移轉の際は特に熟練なる運搬夫を差向け荷造跡片付等一切御便利に取扱申候

東京神田千代田町一八　三共社運送部　本局八九四番

市内各種集金取立　雜誌書籍市內配付　廣告配付使丁供給

弊社は確實なる集金人と經驗ある使丁とを使用し低廉の賃率と御便利とを旨とし諸官衙諸會社各學校各書店の御用を辨じ候

神田千代田町十八　三共社　本局八百九十四番

# 新小說

五月一日發行 ▶ 第拾年第五卷

新小說は文藝雜誌中の大雜誌にして其掲載の小說は現今大家の新作を網羅し毎號挿入の繪畫亦知名畫伯が妙腕を凝せる所其氣品の高尚なるは中流以上讀書界が一大勢力たり

本號小說　泡沫人　後藤宙外　平等主義　花房柳外　大和錦　泉斜汀　血染櫻　高安月郊

其他時文　武士道の研究(宙外)は時局に適切の好論題雜錄なる梅松論(樋口龍峽)藝苑なる天保移轉前の江戸劇場(三木竹二)共に趣味津々たる最好讀物談叢、文苑、社會、流行の諸欄材料豐富なる山の如し

實價　一册金二十五錢郵税二錢◎六册前金郵税共一圓五十六錢◎十二册前金郵税共三圓六錢◎郵券代用一割増

發兌元　東京日本橋　春陽堂

◉色白くきめを能くする　ホーサン石鹸　大形廿錢　小形十錢

●本品を常用せば身體を白色艶麗ならしむる事を保證す
●全國到る處賣藥小間物化粧品店に於て販賣致居り候
●近來類似品之れ有り候に付松澤名義に御注意を乞ふ

●見本御入用の方は往復端書にて御申込あれば送付す(但し愛國婦人と記する事)

東京本石町四丁目　芳香藥種問屋　ムスク香水本舗　松澤常吉

登錄商標

定價表御申越次第呈送仕候

佐竹組糸舗

英國新輸入　無毒製　最優原料　皮膚艶美

クイーン白粉　クイーン水

本舗　花陽堂

取次販賣は到る處の小間物店化粧品店にあり

玉川屋

# 女子教育

編輯主任文學士　下田次郎氏

第二卷第三號　定價十五錢　五月一日發行

發行所　東京市神田區錦町二丁目　明治書院




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## ◎世論一斑

◎大隈伯の政務調査方針　其一ヶ條に曰く戰の久しきに堪ふると云ふ事に付て政務調査委員の方法に御注意願ひたい戰死病死負傷者と云ふものが實に夥しくある其内には夫れ〳〵國家の法律規則に依て遺族も救護されると云ふ事がありまして殆ど遺憾なく出來て居るかと云へば私は遺憾があると思ふのである國家の犧牲となつたものは獨り日本の爲めのみならず世界の人類の爲めてある然るに世界の利益の上に犧牲に供したと云ふ不幸なる遺族に向つては此戰爭中國民は非常な同情を表して居るに相違ないのである併し乍ら去るものは日々に疎しと云ふ譯で時の經過に依ては忘れもしないが此感じは次第に薄くなる昔し封建時代は先祖の家柄と云ふものや或は武家の家柄と云ふものを永く子孫まで殘されて居る今日の戰勝は誰れの力であるか國民の力國民の力を代表した處の軍隊と云ふものが犧牲となつて敵を倒したと云ふのである近來軍人遺族は愛國婦人會等社會的團隊が成立つて救護の途は餘程盡くしてあるが數十万人に向つては出來兼ぬるかの點も多いから國家に於ても十分に之を救ふ途を立てねばならぬ故に之が調査を遂げ輿論を喚起し輿論の力を法律上及び社會上より遺族に安全を與へる事を望むのである（各新聞）

◎女子高等教育亡國論　女子は教育の爲に生殖作用を妨げられる何となれば母としての任務は智力よりも健康である然るに兩者相併ふて發達しないものである智力の發達は女子の希望を高尚にはするが決して女子を幸福にはしない教育ある婦人は現在に不滿を抱き煩悶する教育のないものは反つて專心家庭の任務を盡すものである又教育により批評力や解釋力を養ふ事は女子に取りて不幸であるこれが爲に精神が常に不快である若しも人を批評するに至つては何人よりも愛を受ける資格のない女に化す又男子の爲す丈の事は女子でも出來ると云ふは眞理か知れぬが教育が餘り過ぎると其心性に誇張心獨立心と云ふ要もないものを與へて片輪女にして仕舞ふ又女子は教育の爲に結婚を損ふ何ぜなれば自分の贅澤心と智識慾とに滿足を與ふる事の出來る男が見付からなくば決して結婚しないと考へるに至る斯ういふ女が人の妻になれば主婦たる任務などはソッチ除けにして、やれ音樂會の舞踏會の演劇の、美術のと虛榮的の交際に熱中して世の[illegible]の前に不健康の修飾に耽り朝寢夜更かしに日を暮し爲めに身體の衰弱を招き夫や小兒に不幸を及ぼす事になる云々（米國スミス紙所論　日本新聞）

◎賢母良妻說　國家の盛衰如何は全く中流の家族即ち多數の男女及び其小兒か大國民たるに適する資格があるや否てある若し國民の家庭生活が不健全てあつて各人誠實敢爲中庸嚴正の諸德を欠ぎ女子は又善良なる妻賢良なる母となるも出來ない時は富も進步も形ち作れぬ女の第一の務めは男子の片腕となり家婦となり母となる事と昔しから定まつた眞理である男女の義務を比較して其輕重を問ふならば女子の務を以て男子の務よりも一層重要且つ困難てあり從て一層榮譽あるものと斷定して憚りませぬ此を以て私は立派に其務を盡した婦人に對して同しく義務を盡した男子に對するよりも寧ろ多くの尊敬を拂ふものてあります精勵刻苦する事已れを犧牲とすることあるが爲めに始めて人の一生に値打が出る其目的及び行爲の種類に差別はあるが双方の道德上の價値には大少輕重ない家庭の訓育は人間一生の運命を決する要素である母は須く其子に百難を排して辛苦の中より成功を遂んとするの勇氣ある子を養成するをつとめればならぬ（米國大統領ルーズベルト氏　日本新聞）


實効化粧料
浦嶋水　一名しわよらず　大 二十錢　中 十五錢　小 十錢　特製 五十錢
無鉛 水白粉　一名しわよらず　大 二十五錢　中 十八錢　小 十二錢
老てしわよらずひふ一切によし尾上梅幸菊五郎榮三郎羽左衛門丈樂屋使ひ
製造元 若松堂　東京日本橋區橋町四丁目
發賣元 丸善商店

高等化粧水 アモール 一名 鉛毒ぬき
アモールは鉛毒を去り皮膚を滑かにし白粉の乘りをよくすにきび、そばかす、はたけ、其外皮膚一切にきゝめある事を保證す（定價●小瓶八錢●大瓶拾五錢）
製造元 東京麹町入谷 榮喜堂
發賣元 東京蠣殼町水天宮前 安藤井筒堂

來る五月五日より
夏衣大賣出し
とくせ切見切反物階上に陳列
松
日本橋通四丁目角
松屋呉服店
牛山武兵衛
電話本局七一六番

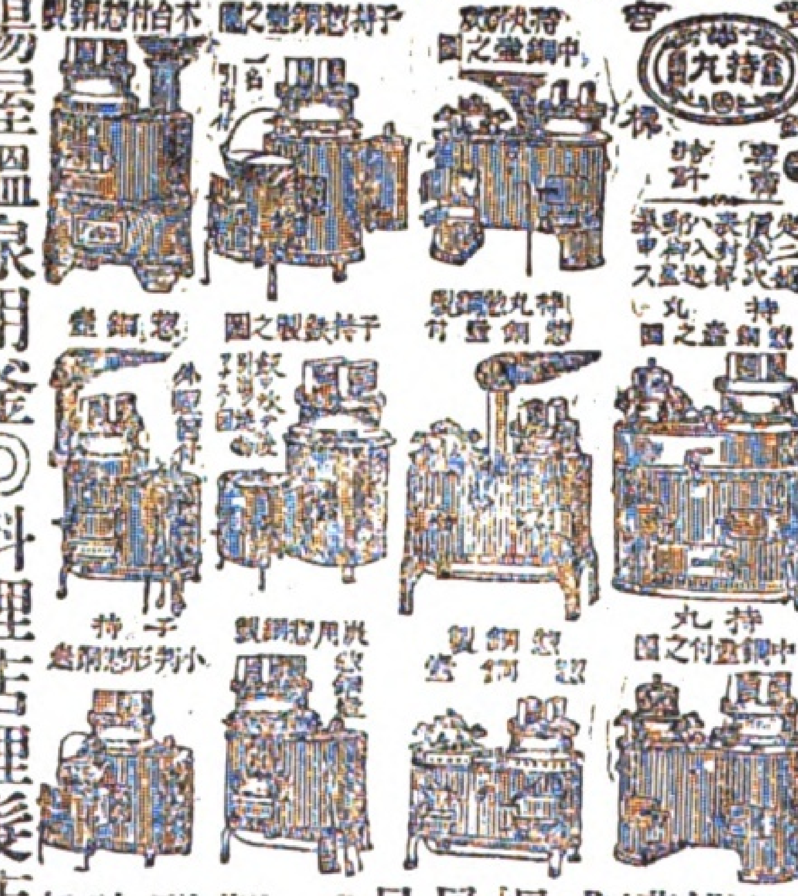
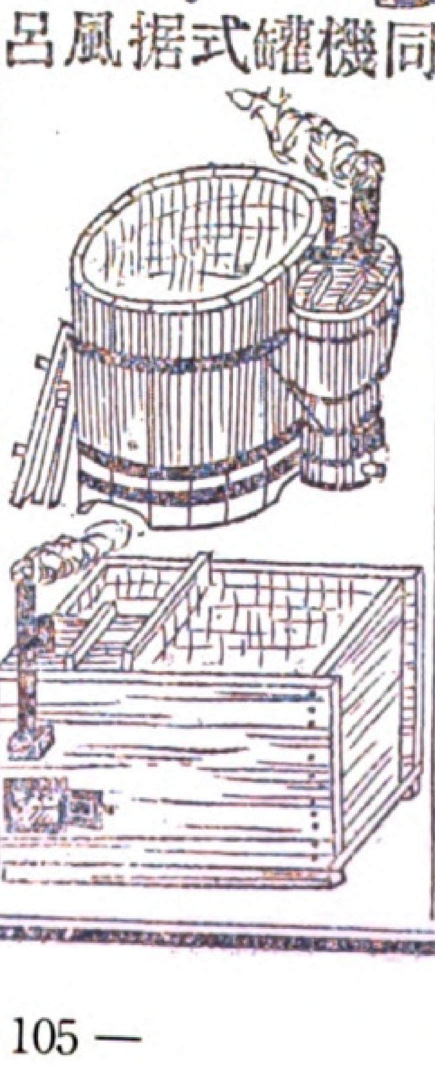
小池陸軍々醫著　中原醫學士補　鶴飼次郎編
實用繃帶學　菊版全一冊　精圖七十有餘　正價五十五錢　郵稅四錢
戰時平時看護必携
之は是繃帶に關する最要の書、通式、頭部の繃帶、乳房の繃帶、上肢及下肢の繃帶等を詳細丁寧に說述し得て明白。所說は正確行文は流暢插圖は精巧、印刷は鮮明。學生は以て演習の模範と爲す可く、實地家は以て日常及戰時の應用に供す可し。

關藤次郎編　普通臨床看病法　正價金卅錢　郵稅四錢
實習救急法　竹中醫學士　關以雄合著　正價卅錢　郵稅四錢
最近之肺結核療法　北里博士閱　柴山醫學士　價八十錢　郵稅六錢
日本大家處方新書　河野敏人編　正價一圓廿錢　郵稅十錢
家庭衞生新書　醫學博士大澤謙二贊　岡部醫學士編　正價四十五錢　郵稅六錢
學校衞生講話材料　北里博士閱　關以雄編　價廿五錢　郵稅二錢
療病新書　醫學士馬島珪之助先生閱　關藤次郎先生編　處方調劑術　正價六十錢　郵稅四錢
發行 東京市神田鍛冶町（電話本局九四九）誠之堂書店

[illegible]
えり善
日本橋ふきや町電話浪花千二百七十番

薔薇麝香入
登録商標 水晶おしろい
無毒薄化粧
東京通塩町 大和屋 大賣捌

寫眞撮影 淺草公園 江崎

特許 第五回博覽會褒賞

◎湯屋温泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱
同機罐式据風呂

◎定價表御入用の方は郵券二錢御送付あれ
製造 日本橋區蠣殼町二丁目十五番地 名和商店
發賣元 神田區和泉橋通松永町十八番地 名和支店 電話浪花千百七十七番

ホワイト裁縫ミシン
●●構造堅牢運轉圓滑
●●使用便利外觀美麗
●足踏み五十三圓より九十圓まで
●手廻し二十九圓より三十七圓まで
◎本品は大阪報効會に數十臺納品の光榮を擔へり

横濱市元濱町一丁目五番地　古屋商店　神戸市加納町四丁目十五番地




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 雜誌の新聞

○女子教育家の常識(新公論二十ノ五)　賢母良妻の四字は女子教育者の悉く口にするところであるが我國現代の要求する賢母良妻とは果して如何なるものであるか支那流義か米國流義か外交官の要求する賢母良妻か都會の賢母良妻か田舍の賢母良妻か名一にして需用悉く別である今の女子教育家と稱するものは果して如何なる種類の賢母良妻を作らんとするのであるか教育家は其の定義に惑うて居る凡そ社會と家庭とに向て聯絡の關滿ならざる實用的でない教育は女子教育進歩の妨害をする切角く勃興しつゝ有る女子教育の發展はこれが爲に小反動を來たさんとするの恐れがある吾人は女子の位置を高める爲に高尚なる學術と趣味と實性の教養は最も必要であるから健全にして常識ある女子教育の行はれんことを望む

○女子教育雜感(文學博士桑木嚴翼氏 女鑑十五ノ五號)　良妻賢母主義や束縛主義は一般に言はゞ間違ひがない主義ですが決して根本の主義ではないから或特別の場合特別の人に當はまるもので之を一般に持て行くと隨分無理が起り其の無理の爲めに苦しむものも出來る譯です教育家が一般の主義を立てるには是非一般的根本的のものを尋ねて行かねばならぬ理が此處にも顯れて居るので前の根本的主義を守れば後は適宜に自由を許し活用をしなければならぬことになると思ふのです其の根本主義は私の言語では人格の修養及尊重と云ふ事に過ぎぬのです之を離れて或は家庭だとか或は墮落だとか言つた所で何にもならぬ事でありますまいか

○結婚式の改良(下田歌子氏 家庭の友)　婚姻は人間一生の大禮でありますゆゑ成るべく嚴肅にかつ禮儀にも叶ふやうに致したいものでありますが近來は社會に一定して婚姻の儀式といふものがありませぬ爲め殆ど千差萬別でこの事に就ては恰も樣々の外國人の寄り集つてゐるかのやうで御座いますそれ故偶ま正しい禮法に依りたいと思ひますと是非その道の人に聞かなければなりませんけれども多く是等の人々の所は昔し諸侯の館に行はれた禮法などでありますゆゑ餘り丁寧すぎ煩はし過て迚も多數の家庭でその通り出來るものでもありませずよし費用に厭ひのない家であつてもその事を實行するに當つて複雜多忙な今日の時勢にあまりに不適當だと思はれるふしもまた多くありませう禮は事體を得るの謂なりと古人も云ひ佛蘭西のルーイスザルクといふ婦人の語にも禮といふものは俗風と式法とを合併一致しよるものだといつてありますやうな譯で禮式などといたものも時代につれて適當に移り變らればならぬもので御座います

○自己の成功に眩惑せる青年(商業界三ノ六)

爰に一人の青年實業家あり彼は創業の際に於いて極めて光輝ある成功を致せりされど彼は自から其の成功に眩惑せり斯くて彼の腦裡は下の如き自信を以つて充たさるゝに至れり以爲らく「予は既に斯業に必要なる有らゆる智能を具へたり最早これ以上に學ぶべき必要を見ず」と彼は自ら以つて同業者中に一頭地を拔ける者なりと爲せり

新に特殊の運動をなすが如きは無益の仕事なりと自認せり彼の大成は是に至つて全く望なきものとなり畢んぬ彼が其の驚くべき成功を自贊しつゝありし間に彼の運命は早くも後方に向つて退却を始めつゝありしなり

此の種の人物は實業界に於いて甚だ多し而して其の末路や說明すべく餘りに哀々たり彼等の頭角が社會の水平線下に沒するの日は遠からずして必ず來らむのみ之に反して其の創業の際には特に赫灼たる成績を擧げずとも苟も機會だにあらば何事にても學ばむとの熱心を有する青年あり彼等は前進せざらむと欲するも得べからず


ドクトル佐伯理一郎著(總ふりかな附)
拾版 普通 看病學
正價金六拾八錢▲郵稅金拾錢

ドクトル佐伯理一郎譯(挿圖百卅七)
袖珍 戰時平時 救急看護
正價金參拾五錢▲郵稅金貳錢

下平文柳著(總ふりかな附)
二版 私宅 看病法
正價金五拾錢▲郵稅六錢

下平文柳著(總ふりかな附)
●看病法修業用
九版 人體 解剖生理
正價金五拾五錢 郵稅六錢

◉發兌元 東京市本郷區龍岡町三十四 吐鳳堂書店◉

東京市日本橋區新右衞門町
第一生命保險相互會社
電話本局 一三七三 一七三七

王子製 雞玉洗粉 登錄商標
玉子洗粉
東京馬喰町 酒井玉擴堂

口腔衞生適切之齒磨
藥用食鹽製
志ほはみがき
●齒牙保全に最も効能ある藥用食鹽を原料とし調製したる無比の齒磨にして芳香馥郁精神を爽快になす
●定價大瓶一個金拾貳錢●小瓶一個金八錢 大箱一個金五錢小箱一個金三錢
●賣捌所は各小間物化粧品店賣藥店にあり
本舖 東京市淺草區諏訪町七番地 東雲堂

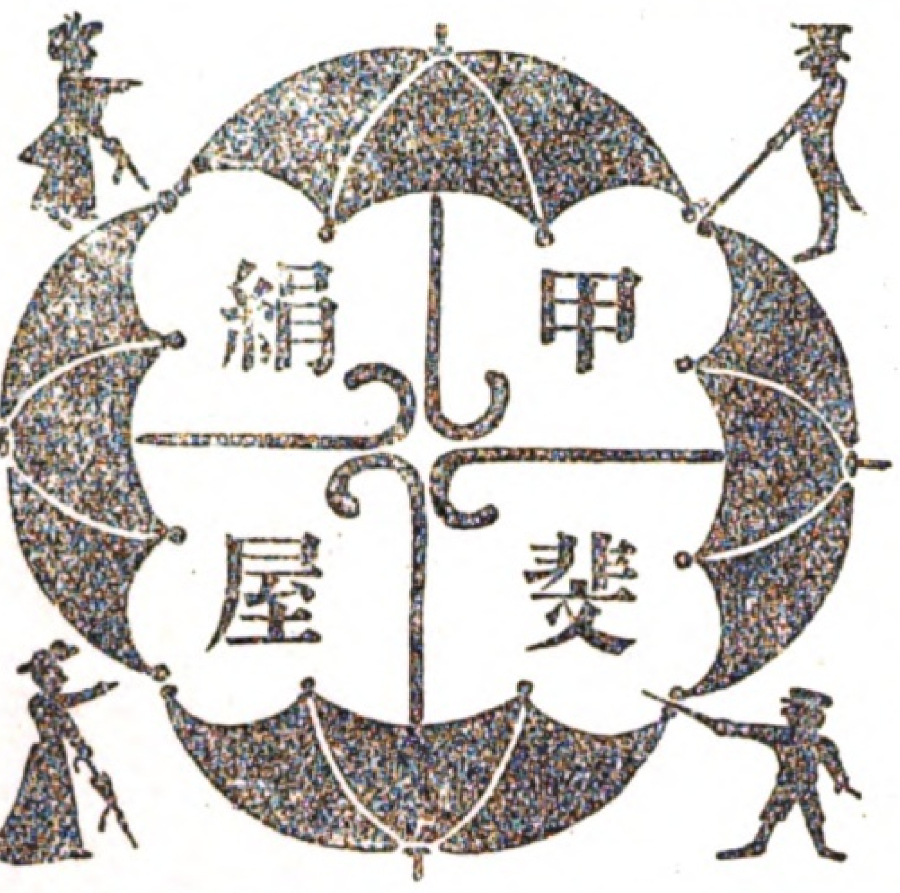
米國醫學博士ジヤス氏發明藥
齒藥之王
一六散
日本諸大醫實驗頌讃功能保証
齒の痛直に止る保証
齒の腐蝕崩碎を止る
齒の惡熱を去る
齒の動きを能く締る
價拾錢廿錢送料貳錢 各藥店に取次
毒にならず口の荒も共に治る香でもよし
東京木挽町九丁目八番地 木原山石堂藥房

五月一日より夏衣新柄よせきれ見切反物
賣始申候
東京神田今川橋
まつや
電話本局 六百八十八番 七百四十七番

日本女子大學校 共立女子職業學校 日本女子美術學校 御用
刺繡用金糸平金類
和洋リボン各種
造花用繪具各種
摘み細工原料
造花材料
造花器械
花簪原料
根掛原料
東京市日本橋區横山町壹丁目十六番地
天野卯兵衞商店
(電話特浪花一六四三)
◉定價表は往復葉書にて申込れたく御序を以て此雜誌名御附記被下たし

東京市麹町區錢瓶町（常盤橋内）
日本興業銀行
電話本局（三、三〇〇番　四一一番　（特）三七一番　一〇二番）
一定期預金　年五分
一當座預金　日歩七厘
一特別當座預金　日歩一錢

東京市日本橋區通一丁目
合名會社 森村銀行
電話（特）本局六七三番
定期預金 六ヶ月以上 年五分三厘
當座預金 百圓に付日歩 八厘
特別當座預金 同日歩 壹錢壹厘

本店 神田區小川町電話本局四八九番


支店 京橋銀座貳丁目電話新橋八三三番

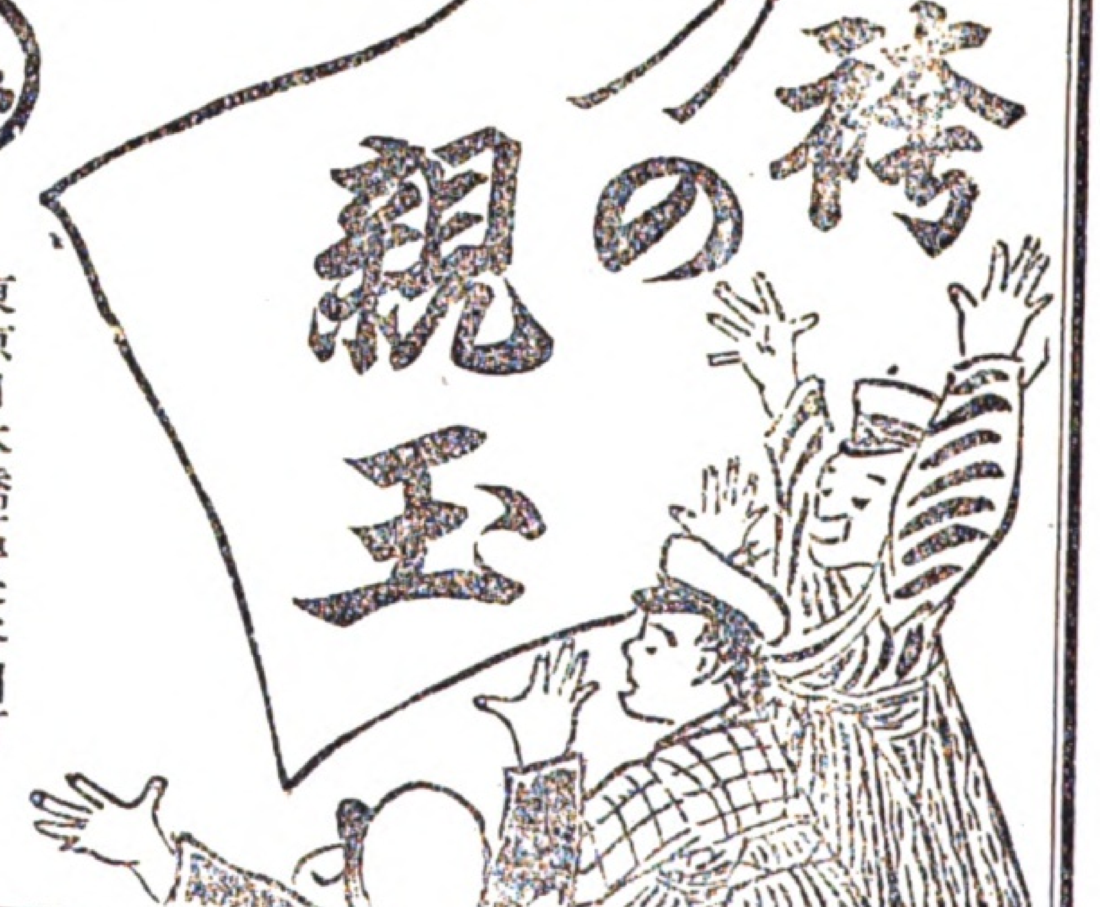
新荷着御案内
一貴婦人用洋傘各種
一絹夏肩掛。及ビ長卷
一編物用蛇鳥糸。アイスウール。及ビ毛糸
一巴里最新流行高等婦人帽子。並ニリボン
一洋花。レース。化粧品其他舶來小間物一式
東京市京橋區銀座三丁目
伊勢與 三枝小賣店
電話新橋 三九二七

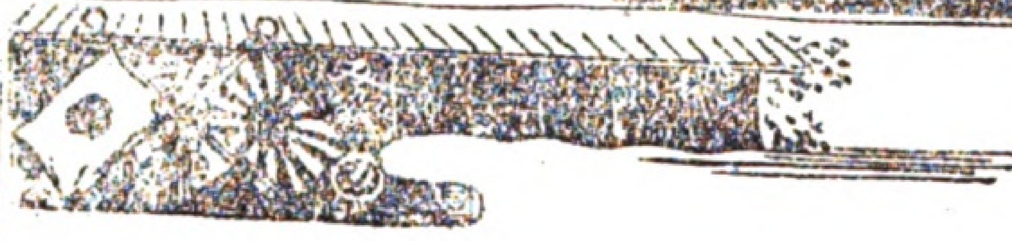
高等香油
チエリーオーイル
紳士貴婦人令孃用
品は無色透明さらくとして此の如く香氣は香水に異ならず故に紳士は勿論、貴婦人令孃方に目下大ゐに流行ざる彼の束髪用としては非常に高評を博しつゝあり
定價八十九錢 四十五錢 廿五錢（送料各十錢）
賣捌は全國有名なる小間物化粧品店にあり
東京日本橋區本町二丁目
發賣元 高橋初次郎
特電四一一三番

銀製指輪
紀念
一號櫻花形七寶入一個參拾錢
二號海軍形錨金消一個參拾錢
三錢赤十字七寶入一個參拾錢
〇送料一個參錢郵劵代用一割增
東京市南傳馬町貳丁目
大西白牡丹
特 電話本局 三十番

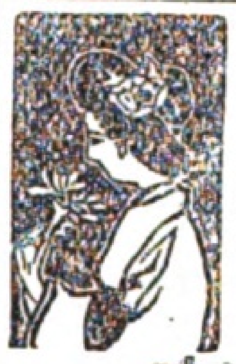
神田區南神保町貳番地
永井支店

◎牛豚肉販賣及西洋料理◎
品質佳良の肉類廉價に販賣候
配達は迅速に且つ正確に致候
滋養と風味の西洋料理調製候
西洋料理出前は格別相働き候
米店は精撰の白米廉價販賣候
御注文は電話又は葉書で願候
小石川表町廿二番地 電話番町六、五九 西川本店
本郷區駒込東片町五番地 電話下谷二三七一 西川支店
小石川表町十一番地 電話番町一四六一 西川洋食店
小石川表町十八番地 米穀商 西川嘉門



㊉
東京日本橋區長谷川町
卸部 美濃磯本店
電話浪花二八五九番
小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店 電話下谷二四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐竹町支店
深川高ばし際 美濃磯支店
芝新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町一丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町一丁目 伊澤支店


高等化粧品
貴婦人
化粧水の原素
十オンス分 金貳拾五錢
五オンス分 金拾五錢
送費貳錢
はだ一切の色白くしきめをよくし尚三倍の德ある効力確實の發明新劑懷中用旅行適當
◎內 ◎外 繪はがき 美人、景色、草花、諸種 大安賣
東京市京橋區南傳馬町一丁目 電話本局三一七九
發賣元 百華園


東郷花 其他流行花束花簪籠製造
本郷三丁目三十一番地
東郷造花店

醫院案內

内科特に胃腸病診療
體格檢査運動療法
院長ドクトル 川瀨元九郎
麹町區平河町二十八番地
電話番町八百貳拾貳番
川瀨醫院

神田區西今川町三番地（電話本局三〇一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
院長ドクトル メヂチーネ 峰秀世
峰内科醫院

院長 醫學博士 榊順次郎 毎日午前診察
副院長 醫學士 久保德太郎 毎日夕刻診察
東京麹町三番町廿三（電話番町三九五）
婦人科産科榊病院

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 内田愼太郎
電話下谷七一八番

産科婦人科專門 ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す
一各科診察從前の通
芝愛宕電新二六四
東京病院

院長 醫學士 鳥山南壽次郎
午前診察 午後往診
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番
鳥山内科院

水原産科婦人病院
〇所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）〇外來診察午前中〇入院往診隨時〇同院に私立産婆學校の設あり

内科一般
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診 午後往診
電話本局貳千九百七十番
板垣亨

〇眼科開院〇入院隨時
獨逸及び澳佛へ留學多年眼科專攻今般歸朝眼科開院專門診察に從事す
〇診察時間 午前自九時至十二時 午後自三時半至四時半
東京市神田區錦町三ノ一（大西眼科醫院跡）
山口眼科醫院（電話本局七一五番）
院長醫學士 山口秀高
醫學得業士 守田正雄




Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(明治三十八年五月五日發行(毎月五日二十日二回))


油染油垢でも掃ずに脱る奇代の原料

世界無比 新發明 英國製ワッセル

◉此ワッセルは湯一升に二匁(小盃へ半分)餘、の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹼より數倍の効用があります

◉婦人の髪は一匁五分(小盃へ半分位)を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同樣の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸かせ手のあれる事は決してありません

◉食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効があります蒸汽管の鑵石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

◉此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなればば朝夕御用ひの方は香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝると なし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水　ワッセル石鹼

◉此品も芳香ワッセル同樣の有効品であります論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

東京京橋區州間堀三丁目河岸
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌あらい芳香ワッセル製造元 三友商會
(電話新橋千七百十二番)

費用と手數を掃き無害有効の洗浄品



小瓶全形

麝香印 ムスク香水 (大瓶一圓 中瓶六十五錢 小瓶廿五錢)

●本品の特色は芳香の永く保つ點に於て頗る高評也

東京日本橋本石町四 ホーサン石鹼本舗
芳香藥種問屋 松澤常吉



花玉石鹼本館
東京馬喰町 長瀨富郎製品

白色くきめをよくする二八水

本品は皮膚に有効なる最新薬を選擇し又香氣は上流社會に[illegible]配合せり
中壜一本拾五錢



目 半ゑり帯揚類 春陽季節向嶄新柄

〇縮緬ショール類多數〇染形絞り帯片側
〇絞り兵兒帯〇ネキタイ〇占領紐〇日本
〇ゑり治形すゞめ形まげ入〇チエリー洗粉

新橋 竹川町十二番地 電話新橋二〇二七 本店 ゑり治
神田 表神保町壹番地 電話本局九五二 支店 ゑり治

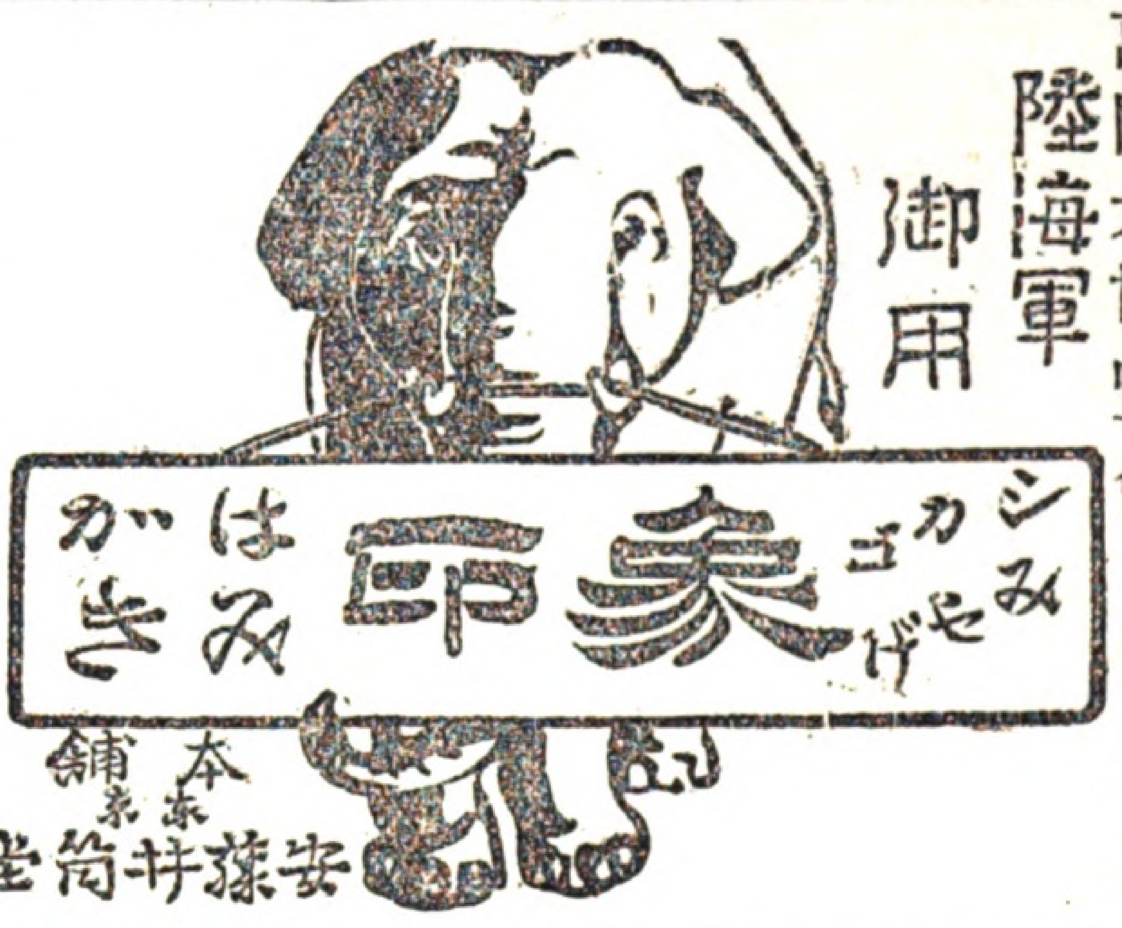
煉香油 男女コスメチック代用品
パール
必用欠ベクカラザル毛髪用の一

皮膚用 湯の花石鹼
湯花を加合しあり遊る全身のふきでもの一切よ特効ある最良の化粧石鹼なりー

婦人コスメチック發賣本舗
東京濱町一(花屋敷通)
平尾分店 電話浪花一一〇



米國セントルイス萬國大博覽會 銀牌受領
陸海軍御用




象印歯磨は品質にして衛生上及び歯牙に殊効あるの故を以て陸海軍の御用品たる事既に江湖多數愛顧者の熟知せらるゝ所なりと雖も猶今回の事局に際しては出征軍士の爲めに恤兵部の御買上品に選定せられ益々御用命を蒙るに至りしは本品の最も光榮名譽とする所なり

本舗 東京 安藤井筒堂
關西代理店 大阪 藤森源之助



從四位淺田宗伯先生直傳 淺田飴

良藥口に甘し にて
定價 金五拾錢 金參拾錢 金貳拾錢 金拾錢

本品全國到る處の藥店に販賣す
本家 東京神田鍛冶町 大阪北久寶寺町 堀内伊太郎



戰勝紀念ピン

金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各其胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價(純銀製一個 金三十五錢以上 餘は御好み次第迅速調製可仕候)

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋服に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる斬新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

宮内省御用達
東京市下谷區池の端仲町 玉寶堂
電話下谷 特九六五番 一二四四番



處世競爭唯一の良師友
立身繁榮安慰の好福音

實業之日本

五月一日發行 毎月二回 八卷第拾號 郵稅共拾貳錢 半年分壹圓卅五錢

本號呼物

(口繪)新案陳列寫眞等
▲新案移動陳列
▲小賣商業の開店方法
▲海外雄飛心得(森村翁述)
▲我水產界の新局面:
▲交友を擇べ…阿部泰藏氏
▲大學總長の活動的經歷
▲現代青年の悲むべき風潮
▲豪商愛兒教化の好實例
▲腰懸主義の青年…岳淵生
◎處世失敗者の告白(何人も一讀黯然)白露
◎青年の職業問題に就て(矢野次郎翁大文字)
◎早く目的を定むる必要…松方巖氏
▲不平慰安方法(高田氏述)
▲古河銅山王成功理想
▲新主人に與ふる書…岳淵生
▲品性修養前後の人格
▲再び簡易の世界跋涉方法
◎大歡迎本卷壹號四版二號三版三四五號皆再版◎

大好評忽三版

處世大觀

▲處世活教訓八大雄篇(皆實驗の教訓家が熱血の作)…
▲全國新聞の賞讃雷の如し◎各地父兄子弟より感謝狀山をなす
▲昔日(之に依て)始めて處世の機微を知り豁然大悟すと…
◎定價二十貳錢
◎郵稅壹錢五厘
◎郵券代用一割增
▲厚サ實業之日本二冊分(臨時增刊)

發兌元 東京麹町有樂町三丁目 電話本局(一二四五) 實業之日本社
賣捌 各地書店



めりんすゆうぜん
人形町通住吉町
赤のれん
お[illegible]や


愛國婦人廣告取扱

| | |
|---|---|
| 京橋區數寄屋橋外 | 弘報堂 |
| 神田千代田町 | 博報堂 |
| 京橋區南大工町 | 一星社 |
| 京橋區八官町 | 廣告堂 |
| 日本橋區上槇町 | 萬年社 |
| 京橋區宗十郎町 | 正路喜社 |
| 京橋區日吉町 | 帝國通信社 |

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會内

印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 愛國婦人第七十八號附錄

明治三十八年五月五日發行（毎月二回五日廿日）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY

評議員
伯爵夫人板垣絹子

長崎縣支部幹事
正木照子

山形縣支部幹事
櫻庭郁子

發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN